

**記紀編さん1300年記念事業 基本構想**  
～神話のふるさと みやざき温故知新ものがたり～



平成25年2月

**記紀編さん1300年記念事業推進協議会**



## 目 次

### 基本構想

はじめに	---	1
1 ねらい	---	2
(1) みやざきの宝の再認識		
(2) 新たな県づくりに向けた県民の力の結集		
(3) 県内外への情報発信と観光交流の活発化		
2 基本理念（コンセプト）	---	3
「神話のふるさと みやざき温故知新ものがたり」		
3 事業期間	---	4
平成24（2012）年から平成32（2020）年までの9年間		
4 推進体制	---	5
5 施策展開	---	5
視点1 資源の掘り起こし、再認識、保存及び整備		
視点2 県民の知る機会、触れる機会の創出		
視点3 観光誘客のための「神話のふるさと みやざき」ブランド定着		
視点4 多様な分野での活用を促進		
重点的取組事項		
記紀編さん1300年記念事業における施策展開のロードマップ		
6 施策展開に当たっての基本姿勢	---	18
(1) 県、市町村、企業、地域団体間における連携		
(2) 記紀ゆかりの地が存在する他県等との連携		
(3) 分野（部局）横断的な取組の推進		
7 ロゴマーク	---	19
8 策定経過	---	20

### 参考資料

1 神話のふるさと みやざき	---	21
2 国民文化祭について	---	23
3 世界遺産について	---	25
4 平成24年の取組状況	---	29
5 記紀編さん1300年記念事業推進協議会規約等	---	61



## はじめに

- 宮崎県は、古事記や日本書紀に描かれた日本発祥にまつわる日向神話の舞台であり、多くの神話や伝承、それらにちなんだ伝統文化やゆかりの地などが県内各地に残されています。
  
- 記紀編さん1300年記念事業は、大きな歴史の節目となる古事記編さん1300年の平成24年から、日本書紀編さん1300年の平成32年までの9年間をかけて、県民一人ひとりが、本県だけが持つオンリーワンの資源（宝）としっかりと向き合い、日向神話や伝説、史跡など本県の宝を再認識するとともに、県民の力を結集し、その磨き上げや情報発信を行うことにより、地域の活性化や将来の県づくりに繋げていく取組です。
  
- また、この記念事業は一過性の打ち上げ花火に終わらせるのではなく、官民を挙げた様々な取組を通して、県内各地に灯りをともし、やがて県全体を明るく照らす岩戸開きの「光」となるよう展開していきたい。そして、行き着くところは、ふるさと宮崎に対する深い理解と郷土愛でありたい。県民が郷土を愛する心を持つことで、対外的な発信力の強化や観光資源の磨き上げに繋がっていくものと考えます。
  
- 本構想は、記紀編さん1300年記念事業推進協議会（以下「推進協議会」という。）企画運営委員会において検討を行うとともに、学術、観光、文化等各分野の有識者との意見交換を踏まえ、記紀編さん1300年記念事業の中長期的な事業展開の方向性をとりまとめたものです。  
これからの宮崎県の発展を見据え、県、市町村、企業、民間団体等がそれぞれの役割において主体的に取り組んでいくための共有の指針とするものです。

# 1 ねらい

## (1) みやざきの宝の再認識

本県には、長い年月にわたり受け継がれてきた神話・伝説や史跡をはじめ、豊富な農林水産資源や穏やかで優しい県民性など、数多くの貴重な宝が残されています。こうした地域の宝を、県民一人ひとりが再認識し、郷土に対する愛着や誇りを深めます。

## (2) 新たな県づくりに向けた県民の力の結集

人口構造の変化など、これから地方の社会・経済をめぐる情勢が大きく変わっていかうとする中、県民一人ひとりが地域の問題に関心を持ち、行政だけでなく、民間団体・企業、地域が一緒になって、将来を見据えた県づくりに取り組んでいくことが重要になってきます。

このため、この取組を通し、県民一人ひとりが地域の良さを見直すとともに、理解促進やイベント開催等の取組を通して、その知恵と力を結集し、新たな県づくりに向けた意識の高揚を図ります。

## (3) 県内外への情報発信と観光交流の活発化

神話、歴史、自然、食、人情など本県の宝について様々な角度から磨き上げを行うとともに、そうした本県の宝を、県内外に情報発信し、本県の観光交流の活発化、ひいては県内経済の活性化に繋げていきます。

## 2 基本理念（コンセプト）

「神話のふるさと」としての地域ブランド定着を目指し、本構想の基本理念を次のとおり掲げます。

### 「神話のふるさと みやざき温故知新ものがたり」

「温故知新」とは、本県の貴重な文化的、歴史的資源を見つめ直すとともに、その魅力をさらに磨き上げて県外にもアピールし、みやざきの未来を創造していく契機にしたい。神話という過去にとりまとめられたものと現在とを結びつつ、さらにそれを未来へと発展させていくという趣旨です。

「ものがたり」とは、そもそも物語である記紀について、特に、語り部により伝承された古事記を、現代の我々も語り継いでいくこと、そしてこれからの宮崎の〈物語〉を紡いでいくことが大切という意味を込めています。

【参考】「温故知新」の類義語「稽古照今」が『古事記』にあります。

#### 稽古照今（けいこしょうこん）

【意味】古について学び考え、そのことを今に照らし為すべきことを知る。

#### 【「古事記」上巻・序文】

歩むと驟あゆくとおのおのもおのおのも異うぐつに、文ことれると質かざなると同じくあらずといへども、古を稽へて風のりの猷みちを既すたに頹ただれたるに繩のりしたまひ、今を照して典をしの教へを絶たえなむとするに補おぎなひたまはずといふこと莫なし。

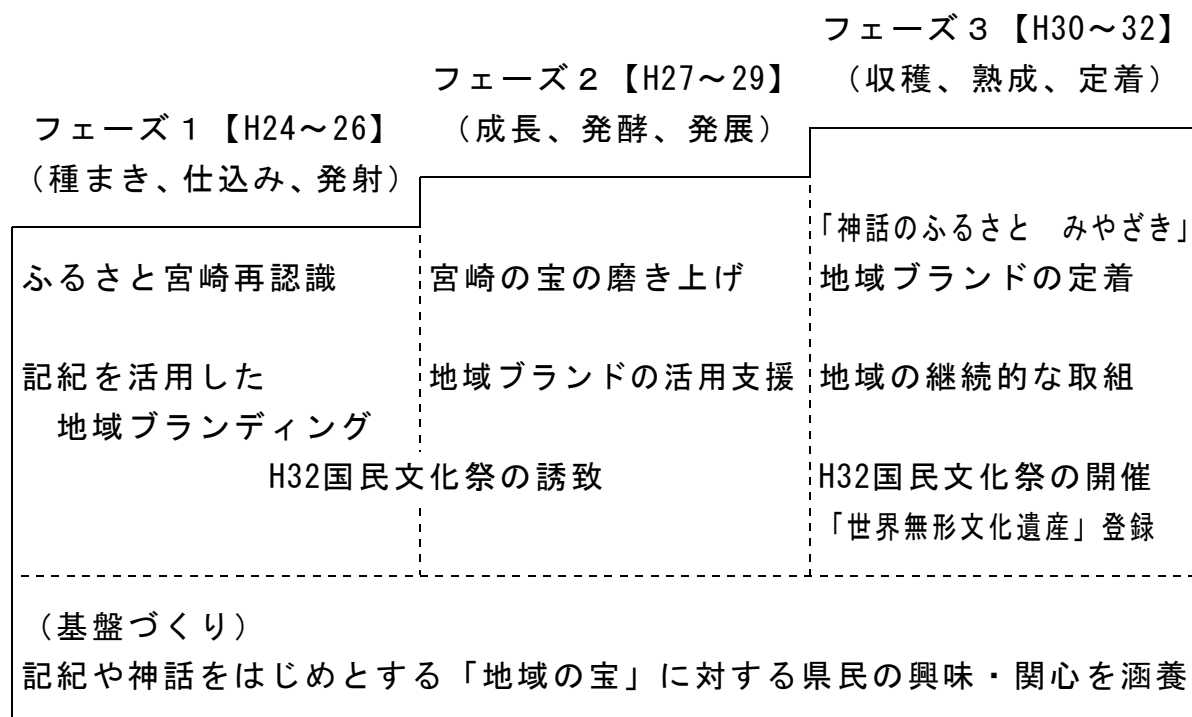
【訳】（歴代の天皇については）その治政に、歩くのと疾走するのと、というように緩急それぞれあって、華やかと素朴とこれまたそれぞれ相違はあるが、（いずれの天皇も）古の聖賢の道を考えて、教えの道がすでにすた廢れてしまうというときにはしっかりと正され、今を照らして、常に守るべき教えが絶えようとするすたと補い正すことをなさらなかったことはなかった。

（出典：中村啓信「新版古事記 現代語訳付き」角川文庫）

### 3 事業期間

平成24（2012）年から平成32（2020）年までの9年間

中長期的な視点に立って、3年ごとの3つのフェーズ（段階）に区切り、フェーズ毎に進捗状況や情勢の変化等に対応しながら事業を展開していく。



#### 【参考】記紀（古事記・日本書紀）

平成24（2012）年は古事記が編さんされてから1300年の節目の年に当たります。

**古事記**（こじき、ふることふみ）：日本最古の歴史書であり、その序によれば、712（和銅5）年に太朝臣安萬侶（おほのあそみやすまろ）（太安万侶（おおのやすまろ）とも表記）によって献上されました。

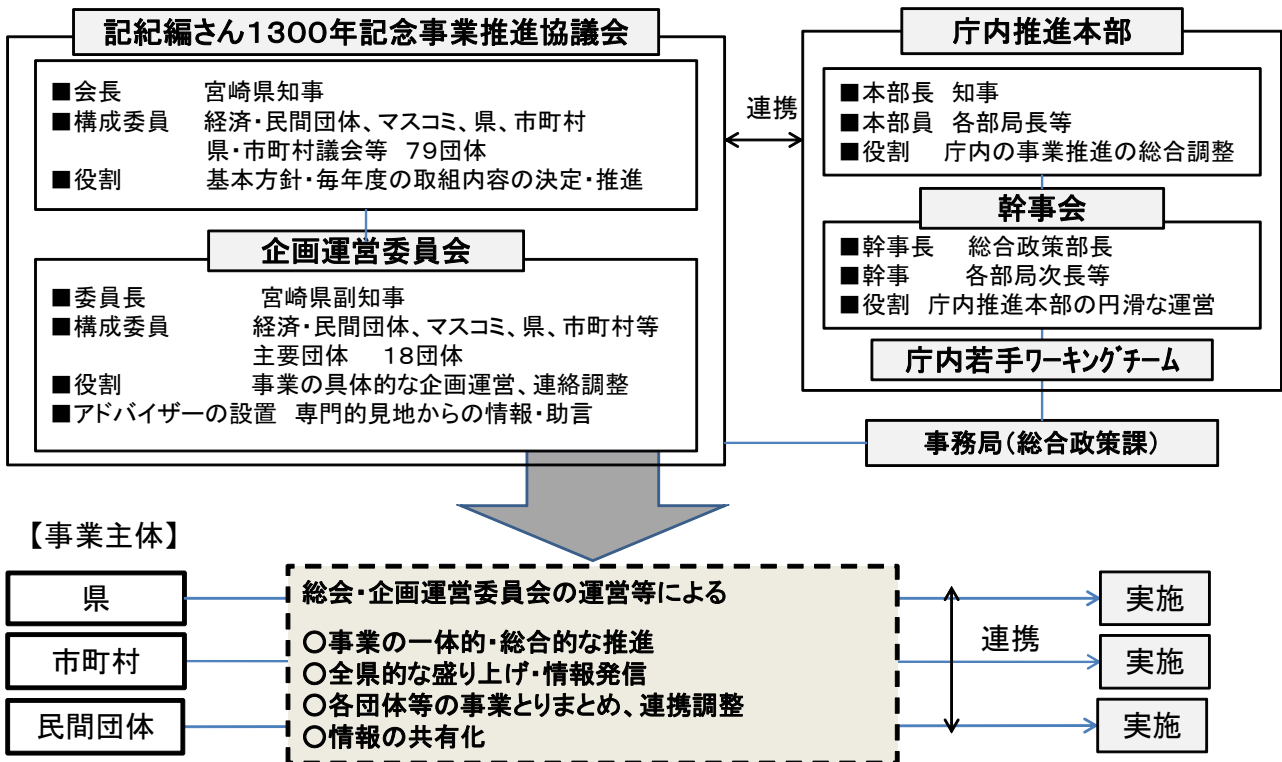
平成32（2020）年は日本書紀が編さんされてから1300年の節目の年に当たります。

**日本書紀**（にほんしよき）：奈良時代に成立した日本の歴史書。日本における伝存する最古の正史で、六国史の第一にあたります。舎人親王らの撰で、720（養老4）年に完成しました。神代から持統天皇の時代までを扱い、漢文・編年体で記されています。



## 4 推進体制

記紀編さん1300年記念事業推進協議会(H24.2.21設立)を中心に官民一体となって取り組んでいきます。



## 5 施策展開

- 記紀に描かれた日本発祥にまつわる日向神話をはじめ、数多くの神話や伝承が残されている本県は、「神話のふるさと」と言えます。  
それらは、他県には存在しない、本県ならではのオンリーワンの文化資源です。
- 一方、第二次大戦前の皇国史観による国威発揚に用いられた経緯や、戦後の神話否定の歴史教育を経て、一般の人々の神話や伝承への関心や認識が十分とは言い難い状況にあります。
- しかしながら、神話や伝承は世界各地に存在しており、我が国と同様にその土地の生活文化に少なからず影響を与えています。また、神話の中にも現実世界や史実をモチーフにしたと考えられるものが存在しますので、科学的、実証的な史学とあわせて、悠久の浪漫（ロマン）を抱きながら、神々の物語に目を向けることも、ふるさと宮崎のみならず我が国を知る上で大変重要なことと考えます。

- 本県は神話・伝承の宝庫でありながら、県民自身がそのことをよく知らない、したがって、有効に活用されていないという現状・課題を踏まえ、以下に示す4つの視点を掲げ、本県の歴史的・文化的資源の掘り起こしや県民の理解促進といった基盤づくりを進めながら、観光誘客や多様な分野への広がりを持たせるような形で施策を展開していきます。
- 特に、世界遺産登録を視野に入れた「みやざきの神楽群」や「西都原古墳群」の調査研究・気運醸成、さらには記念事業の集大成としての「国民文化祭」の開催を通して、対外的に「神話のふるさと みやざき」をアピールしていきます。
- なお、記紀編さん1300年記念事業の推進に当たっては、県や市町村、民間、記紀ゆかりの県等との相互連携を図ることを基本姿勢として取り組んでいきます。

### (4つの視点)

**視点1** 神話・伝承など資源の掘り起こし、再認識、保存及び整備を促進し、次世代へ継承する基盤づくりを行う。

**視点2** 県民自らが「神話のふるさと みやざき」を語れることを目指し、県民の知る機会、触れる機会の創出を図る。

**視点3** 継続的・効果的に情報発信し、県内外からの観光誘客のための「神話のふるさと みやざき」ブランド定着を図る。

**視点4** 多様な分野での活用を促進し、取組に広がりを持たせ、経済活性化、地域活性化に繋げていく。

### (目指す姿)

#### ① 次世代への継承

- 有形無形の文化財の保護・継承
- みやざきの神楽群の世界無形文化遺産登録
- 世界文化遺産も視野に入れた西都原古墳群の調査研究の充実及び気運醸成

#### ② 県民総語り部化

- 子どもたちの郷土への関心や誇り、愛着を育む
- 県民の記紀に対する認知度向上
- 県民総てが「語り部」として、ふるさと宮崎を発信

#### ③ 「神話のふるさと みやざき」ブランド定着

- 地域特性を生かした新たな魅力づけ
- 観光交流の活発化
- 県民総参加による国民文化祭の開催

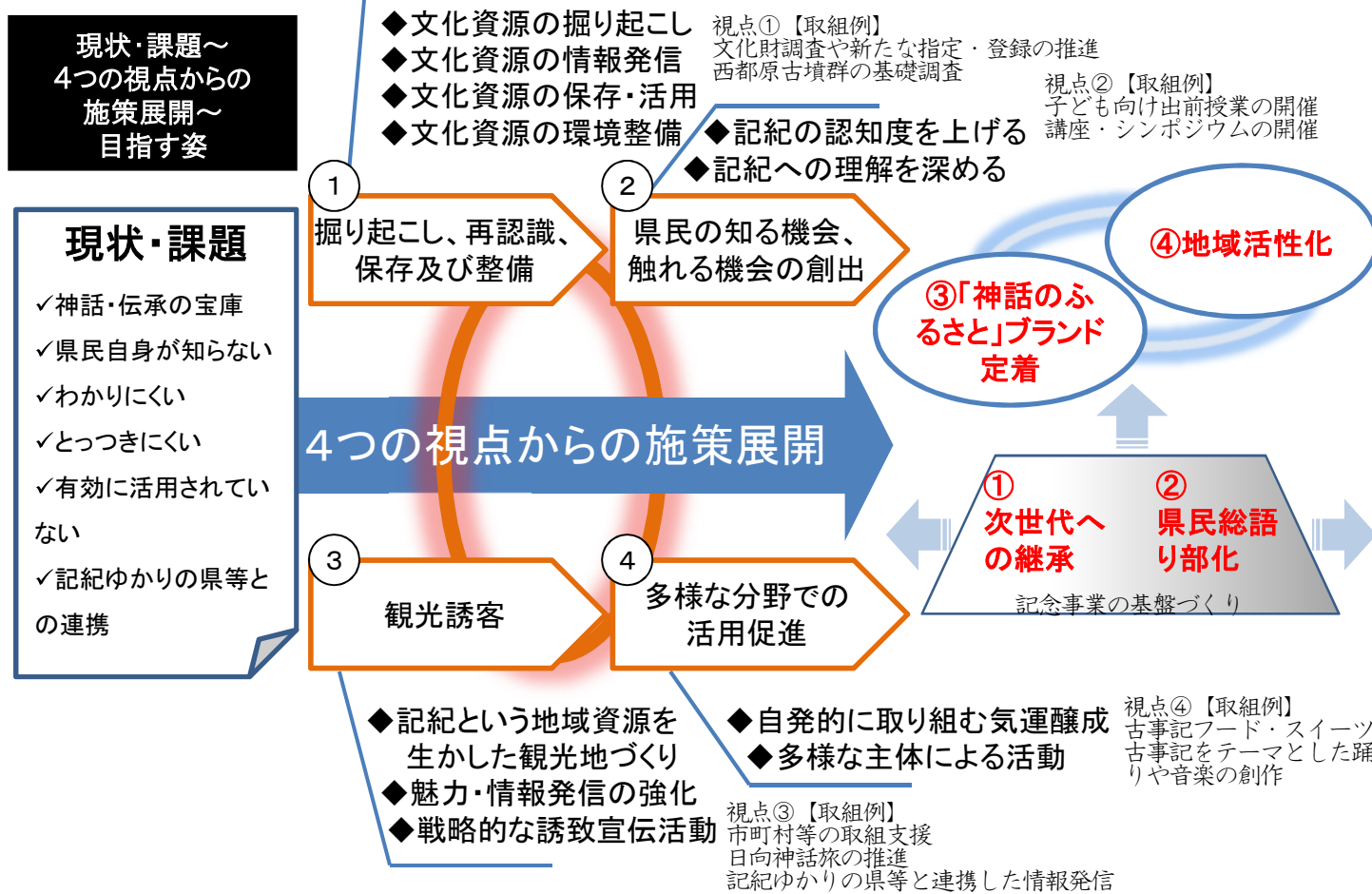
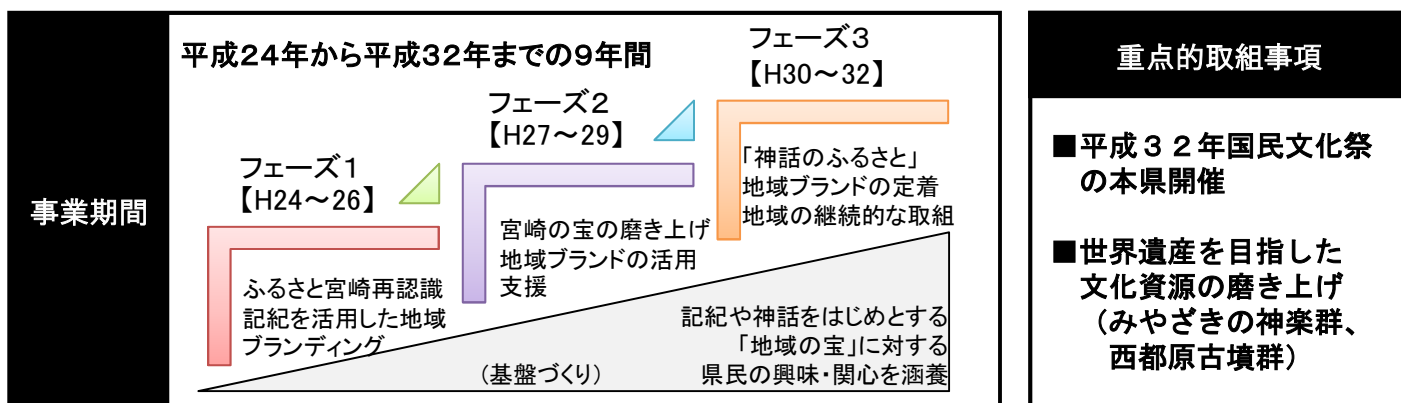
#### ④ 地域活性化

- 地域特性を生かした差別化、高付加価値化の実現
- ふるさと宮崎の再発見

# 記紀編さん1300年記念事業 概念図



ねらい	①みやざきの宝の再認識 ②新たな県づくりに向けた県民の力の結集 ③県内外への情報発信と観光交流の活発化	コンセプト	神話のふるさと みやざき温故知新ものがたり
		推進体制	記紀編さん1300年記念事業 推進協議会



<p><b>施策展開に当たっての基本姿勢</b></p>	<p>①県、市町村、企業、地域団体間における連携</p> <p>②記紀ゆかりの地が存在する他県等との連携</p> <p>③分野(部局)横断的な取組の推進</p>
------------------------------	--

## 視点 1 資源の掘り起こし、再認識、保存及び整備

### 1 方向性

- ・ 長い歴史と豊かな風土に培われ、守り伝えられた有形無形の文化財を大切に保護・継承し、積極的に活用する環境づくりや次世代へと語り継ぐ基盤づくりを推進します。
- ・ 西都原古墳群や県内に存在する200余りの神楽など、本県が誇る文化資源について、「世界遺産<sup>\*1</sup>」、「世界無形文化遺産<sup>\*2</sup>」登録も視野に入れた学術的研究・調査及び気運醸成を推進します。

### 2 具体的な施策展開

- ・ 県内の文化財の積極的な掘り起こしや、県内の神話や伝承、神楽などの伝統芸能等の情報収集に努めます。
- ・ 神話や伝承に関する情報を網羅したデータベースの構築及び拡充を行うとともに、その保護及び継承に努めます。
- ・ 西都原古墳群全体の魅力向上を図るため、その環境整備に努めます。
- ・ 神話や伝承の語り手、地域の伝統文化の担い手等の育成・支援を行います。
- ・ 記紀に関連する分野における、全国レベル又は国際的な学会等の本県開催を誘致します。
- ・ 記紀ゆかりの県との連携や記紀と県内史跡を関連づけ情報発信するなど、県総合博物館、県立西都原考古博物館、埋蔵文化財センターなどの博物館等の積極的な活用を図ります。

---

\*1世界遺産：ユネスコ世界文化遺産。1972年のユネスコ総会で採択された世界遺産条約に基づいて世界遺産リストに登録された、遺跡、景観、自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」を持つ物件のこと。有形の文化遺産が対象。2012年7月現在の登録件数 157カ国 962件(うち国内16件)。

\*2世界無形文化遺産：ユネスコ無形文化遺産。2003年のユネスコ総会で採択された「無形遺産の保護に関する条約」に基づいた「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載された芸能(民族音楽・ダンス・劇など)、伝承、社会的慣習、儀式、祭礼、伝統工芸技術、文化空間などの無形の文化遺産のこと。国内では「人形浄瑠璃文楽」「歌舞伎」「雅楽」「京都祇園祭の山鉾行事」などが登録されている。

## 視点2 県民の知る機会、触れる機会の創出

### 1 方向性

- ・ 記念事業の主役は県民であり、その認知と支持の向上を図ることが最も重要です。
- ・ 子どもたちに、神話や伝承に触れる機会を通して、地域に対する理解を深めるとともに、地域への関心を高めさせ、ふるさと宮崎への誇りや愛着を育みます。
- ・ 神話や伝承等について、県民自らが「語り部」となって、家庭、地域や職場、そして県外において発信できるよう県民の理解促進を図ります。
- ・ フェーズ1においては、特に記紀に関心の高い「団塊の世代」を中心とするシニア層及び次世代を担うジュニア層を重点ターゲットとします。

### 2 具体的な施策展開

- ・ シニア層をターゲットとして、有識者や市町村と連携したリレー講座を開催するなど、記紀について学べる環境づくりを行います。
- ・ 記紀、神話や伝承に関する講演会やセミナー等の開催を充実させます。
- ・ 他県や外国との交流の機会を活用して、県民自らが神話や伝承等を積極的に発信するような気運の醸成に努めます。
- ・ 子どもたちに対し、郷土に対する誇りや愛着を育むため、学校や地域におけるふるさと学習や体験活動等を推進します。
- ・ ふるさと宮崎を思う気持ちや次代に伝えていく意欲を持った人材を育成するための検定制度の創設を検討します。
- ・ 児童生徒向けの書道、読書感想文、弁論大会などのテーマに、記紀関連のものを設定し、子どもたちが知る機会を増やします。

### 視点3 観光誘客のための「神話のふるさと みやざき」ブランド定着

#### 1 方向性

- ・ みやざきの魅力を、「神話のふるさと」というオンリーワンの資源を生かした継続的かつ効果的な情報発信を重ねることでブランド定着を図ります。
- ・ 関連するイベント開催や各種メディアでの活用など、賑わいの創出や全県的な盛り上げを図ります。
- ・ 記紀ゆかりの県と連携して、効果的な情報発信を行います。
- ・ 県内の記紀ゆかりの地の磨き上げ及び環境整備を図ります。
- ・ フェーズ1においては、特に記紀に関心が強い「団塊の世代」を中心としたシニア層を重点ターゲットとします。

#### 2 具体的な施策展開

- ・ 本県の歴史的節目等を活用したイベントとの連携や他県との共同事業など、効果的、持続的な情報発信を行います。
- ・ テレビ番組の制作・放映や雑誌等を活用した広報宣伝、神話等をモチーフにしたPRツールの制作やパンフレット・ポスター等の作成などにより、神話や伝説、史跡のみならず本県の様々な観光資源を県内外に対し情報発信します。
- ・ 記紀のおもしろさをわかりやすく伝えるパンフレット等の広報資料や「記紀」色を醸し出すパブリシティツールを作成・支援します。
- ・ ロゴマークを広く一般に公開し、名刺、ポスター、パンフレットなどで幅広く使用してもらい、記念事業の認知度を高めます。
- ・ 記紀に関連するイベント、祭り等の実施及びその支援を行います。
- ・ 日向神話を活用した旅行商品の造成支援や、観光列車や周遊バス、観光タクシーなど二次交通網の支援など、観光誘客の取組を充実します。
- ・ 研修会や講演会を開催するなど、観光ガイドの充実や、おもてなしの向上に努めます。
- ・ 県内の記紀ゆかりの地において、初めて訪れた人も理解できる観光案内サインの整備を行います。
- ・ 各主体が情報発信を検討する上で、考古学等の専門的見地から助言を得られる体制づくりを行います。

## 視点4 **多様な分野での活用を促進**

### 1 方向性

- ・ ありふれた日常や商品などを、「神話のふるさと」というフィルタを通して考えてみると、今までと違った魅力が生まれたり、全体として一定の方向性が与えられたりして、効果的にみやざきの魅力を発信することができます。
- ・ 例えば、神話関連グッズの開発や「1300」と語呂合わせの商品を売り出すなど、自らの事業・取組と記念事業を掛け合わせる形で、それぞれの分野での活用（コラボレーション）を促進し、経済の活性化や地域の活性化を図ります。

### 2 具体的な施策展開

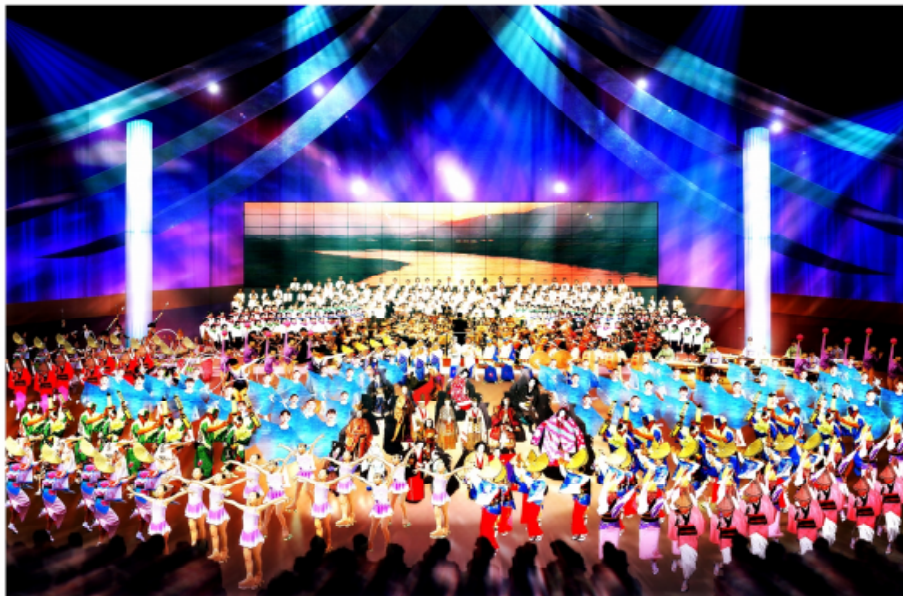
- ・ 多様な分野での活用を促進するため、記紀関係の講師紹介や神楽の出演依頼などに応じる相談窓口機能の充実を図ります。
- ・ 記紀にちなんだ「食」、「土産品」の開発支援など、物産・サービス、教育・文化、地域振興での活用及びその支援を行います。
- ・ 県民や企業等が自発的に取り組む気運の醸成を行います。
- ・ 記紀の活用を促進するため、他県等における地域ブランドの活用事例を紹介するとともに、県内の優秀活用事例の顕彰制度の創設を検討します。

## 重点的取組事項

### 平成32年国民文化祭の本県開催

- 国民文化祭の開催は、文化活動を行っている県民の意欲を高め、伝統文化の保存・継承、芸術文化に係る人材や団体の育成、全国の文化団体との交流促進など、芸術文化の振興を図る上で大きな意義があるとともに、本県の「宝」を全国に発信する絶好の機会であり、この記念事業の集大成として、日本書紀編さん1300年に当たる平成32年（2020年）の国民文化祭の本県での開催を目指します。

また、国民文化祭の開催は、観光誘客、地域経済に与える影響も大きく、近年の先催県の状況では、県外から1万人を超える出演者を含む約200万人の参加者や、約130億円以上の経済波及効果とされており、本県開催でも同様の効果が見込まれます。



国民文化祭文化祭・とくしま2012 総合フェスティバル（公式HPより）



## 世界遺産を目指した文化資源の磨き上げ

### ○ みやざきの神楽群（国指定重要無形民俗文化財）

「神話のふるさと」である本県には、国指定の重要無形民俗文化財である「米良神楽」、「高千穂の夜神楽」、「椎葉神楽」、「高原の神舞」をはじめ200を超える神楽群が、県内各地で地域の暮らしと密接に関わりながら残されています。

これらの多くは、記紀に描かれた神話を起源とし、神話の世界を現代に再現するものであり、古人、先人と現代の私たちが“絆”を結ぶ行為であるとともに、地域の“絆”づくりそのものであると言えます。

また、本県の神楽群は、先人達が忠実に引き継いできたことにより、過度な演出が加味されることなく原型を色濃く留めている点において、全国的にも希有な存在であると言っても過言ではなく、世界的にも人類の文化の多様性を示すものであります。

本県の神楽群をこれからも継承していくために、世界無形文化遺産登録という目標を掲げ、その表現する意味や世界観を広く理解し、保護・振興策を推進することで、地域の“絆”の再構築を図ります。



### ○ 西都原古墳群（国指定特別史跡）

西都原古墳群は、全国有数の規模を誇る巨大古墳群として昭和27年に国の特別史跡に指定され、昭和40年代から全国に先駆けて史跡整備を進めてきた、自然景観・田園風景に調和した秀麗な古墳群であります。

また、古代史の謎を秘めた悠久の浪漫を感じることでできる文化資源として、さらに、古墳群を含めた景観を活用した取組がなされるなど地域の生活・文化と密着して息づいている文化資源であります。

西都原古墳群が地域のランドマークとして多様な活用がされる文化資源として、今後一層の保護・活用に向けて、世界文化遺産を視野に入れた諸課題の検討、価値のアピール等を図ります。



# 記紀編さん1300年記念事業における施策展開のロードマップ

H24年 (2012)	H25年 (2013)	
古事記編さん1300年、西都原古墳群発掘100年	置県130年、県立芸術劇場開館20年	高速道宮崎・延岡間開
<b>【視点1】資源の掘り起こし、再認識、保存及び整備</b>		
県内の文化財、神話や伝承などの文化資源の掘り起こし 文化財の調査や新たな指定や登録の推進		
文化資源の情報発信(県内の神話や伝承に関する全てを網羅したデータベースの構築・拡充など) 民俗芸能の状況調査 → 民俗芸能(神楽)の映像記録保存 → 随時公開 神話・伝説の情報収集 → 資料整理 → デジタルコンテンツの作成 → 公開 → 神話・伝説の情報		
文化資源の保存・活用 神話や伝承の語り手、地域の伝統文化・芸能の担い手、団体等の育成・支援 博物館等の積極的な活用 記紀に関連する分野における全国・国際レベルの学会等の本県開催誘致 記紀に関連する研究の充実 宮崎県の神楽群の調査を行い、提案内容、映像等資料 ユネスコ無形文化遺産登録に向けたPRやシンポジウム		
文化資源の環境整備 西都原古墳群の基礎調査 → 西都原古墳群全体の魅力向上を図る環境整備 西都原考古博物館開館10		
<b>【視点2】県民の知る機会、触れる機会の創出</b>		
記紀の認知度を上げる 記紀・神話に触れ、親しむ環境(歴史浴)づくり 「文化の日」等を活用した出前授業の開催 「みやざきの言の葉」発行 → 「みやざきの言の葉」語り部養成講座、子どものための講座等の実施 子どもたちを対象とした「記紀みらい塾」を県内各地で開催 本県の歴史や文化を学び、ふるさと宮崎を思う気持ちや次代に伝えていく意欲を持つ 記紀関連の多様な主体による勉強会・講演会等の開催支援		
記紀への理解を深める 記紀、神話や伝承に関する研修会開催 著名文化人を招いての講演会開催 大学等と連携した講座・シンポジウム開催 有識者や市町村と連携したリレー講座の開催		

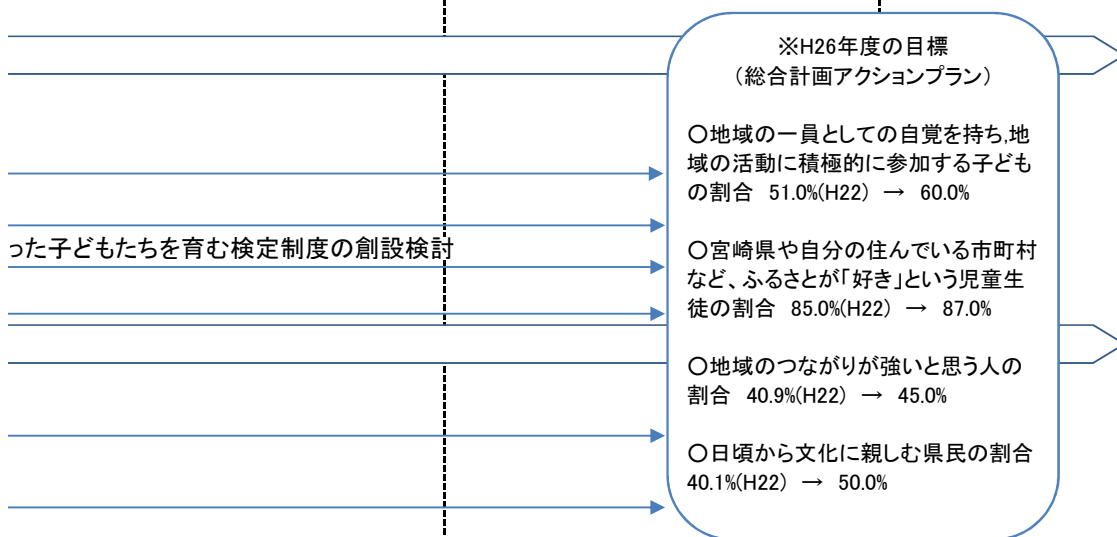
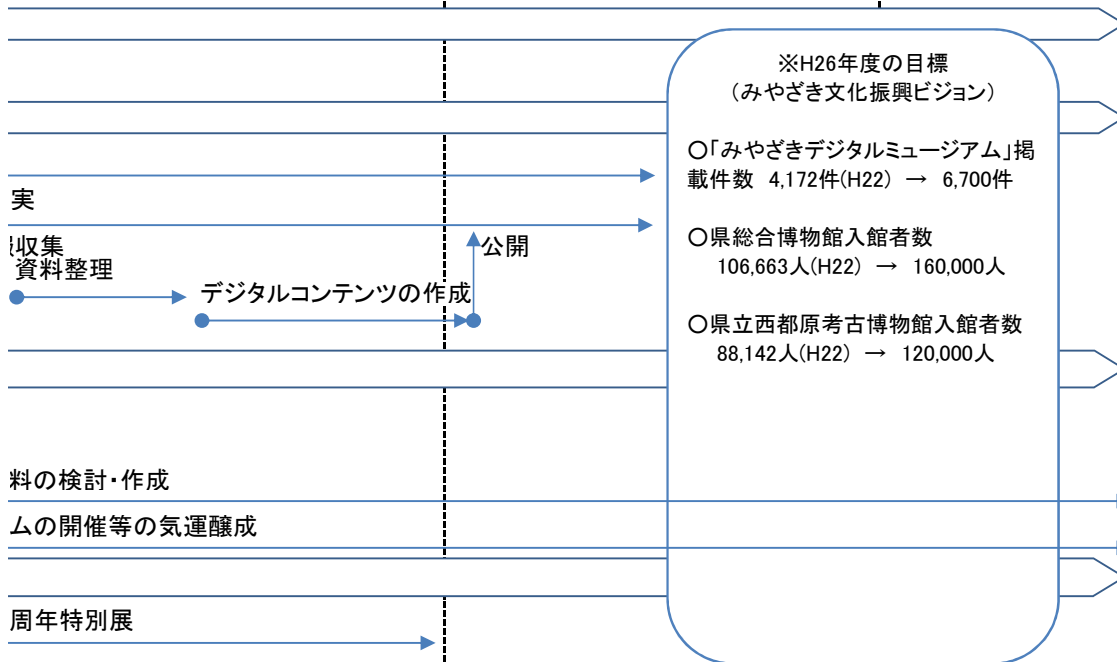
H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	H31年 (2019)	H32年 (2020)
開通、西都原考古博物館開館10年	県立美術館開館20年		高速道宮崎・大分間開通		宮崎国体開催40年	日本書紀編さん1300年

### 【次世代への継承】

- 有形無形の文化財の保護・継承
- みやざきの神楽群の世界無形文化遺産登録
- 世界遺産も視野に入れた西都原古墳群の調査研究の充実及び気運醸成

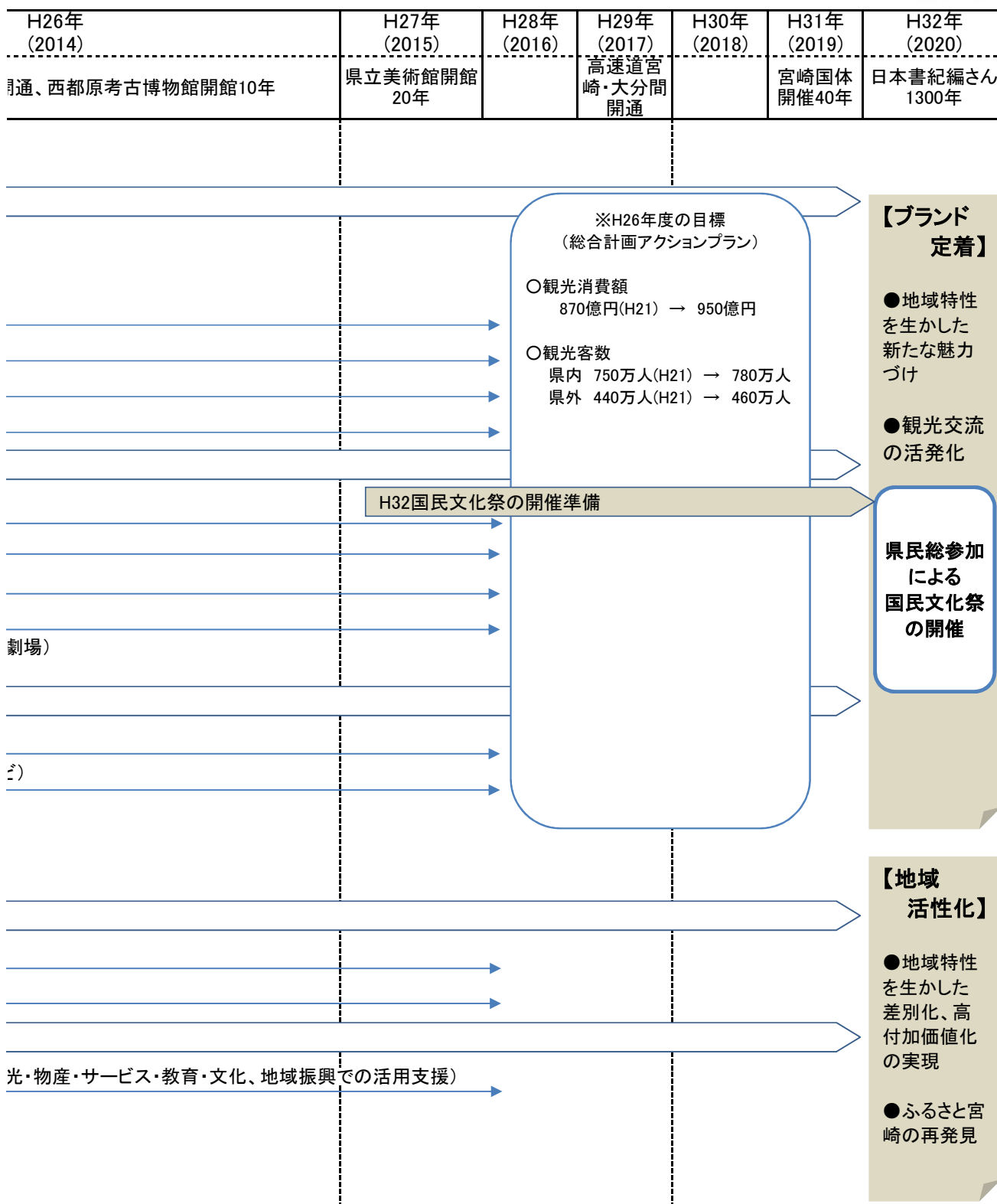
### 【県民総語り部化】

- 子どもたちの郷土への関心や誇り、愛着を育む
- 県民の記紀に対する認知度向上
- 県民総てが「語り部」として、ふるさと宮崎を発信



# 記紀編さん1300年記念事業における施策展開のロードマップ

H24年 (2012)	H25年 (2013)	
古事記編さん1300年、西都原古墳群発掘100年	置県130年、県立芸術劇場開館20年	高速道宮崎・延岡間開
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #f0f0f0;">【視点3】観光誘客のための「神話のふるさと みやざき」ブランド定着</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">記紀という地域資源を生かした観光地(魅力)づくり</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「日向神話旅」立ち上げ 古事記編さん1300年記念ツアー実施(「宮崎・西都コース」、「日向・高千穂コース」のバスツアー等)</div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光地づくりに取り組む市町村・団体の支援</li> <li>● 観光地総点検の実施</li> <li>● 観光列車、観光タクシーなど</li> <li>● 二次交通網の支援</li> <li>● 観光案内サインの整備及び支援</li> <li>● 「宮崎恋旅」の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記紀関連のイベント・祭り等の実施及び支援</li> <li>● 観光ガイドの充実・おもてなしの向上(スキルアップ研修、県外先進地の視察など)</li> <li>● 企画・観光に携わる職員向けの研修会等の開催</li> <li>● 考古学等専門の見地からの助言が得られる相談体制整備</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">魅力・情報発信の強化</div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロゴマーク・HP作成</li> <li>● 古事記記念イベント、シンポジウム、講演会の開催</li> <li>● ポスター、パンフ、リーフレット等の作成</li> <li>● TV番組の制作・放映</li> <li>● 雑誌等による広報宣伝</li> <li>● 記紀ゆかりの県等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「神話のふるさと」ブランド情報発信(シニア層を重点ターゲットに継続的に展開)</li> <li>● 県内既存イベントや本県の歴史的節目のイベント、他県等と連携した情報発信</li> <li>● 情報発信・知名度向上対策(都市圏観光・物産展への参加、宣伝ツール作成など)</li> <li>● 「日向神話旅」データベース化</li> <li>● 雅楽公演、神楽を中心とした郷土芸能フェスティバル開催(県立芸術)</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">戦略的な誘致宣伝活動</div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光キャンペーン実施等</li> <li>● 南九州3県による広域連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャリア・エージェント対策(セールスプロモーション、広告支援等のタイアップなど)</li> <li>● 「神話のふるさと みやざき」キャンペーン(夏期及び秋・冬期のキャンペーン実施など)</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #f0f0f0;">【視点4】多様な活用を促進</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自発的に取り組む気運醸成</div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記紀関連の多様な主体による勉強会・講演会等の開催支援</li> <li>● 県内の優秀活用事例の紹介・顕彰</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">多様な主体による活動</div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 古事記フード・スイーツの開発</li> <li>● 古代米を用いた田んぼアート</li> <li>● 古事記をテーマとした踊りや音楽の創作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な主体による活動の支援(記紀にちなんだ「食」、「土産品」等の開発支援など、観)</li> </ul>	



## 6 施策展開に当たっての基本姿勢

県民をはじめ、県、市町村、民間団体等の主体的な取組に加え、推進協議会を中心に連携しながら推進していきます。

### (1) 県、市町村、企業、地域団体間における連携

記念事業を推進するためには、県だけでできるものではなく、各主体が自発的に取り組む必要があります。さらに効果的に推進するために、県内各市町村や企業、地域団体間における連携は不可欠であり、官民79団体で構成する推進協議会を中心に連携・協力することで、より効果的で質の高い情報収集・発信を図っていきます。

### (2) 記紀ゆかりの地が存在する他県等との連携

記紀神話にゆかりの地は全国各地に存在しています。古代の歴史や文化という共通項で記紀ゆかりの自治体同士が連携して、シンポジウムやイベントへの相互参加や共同キャンペーンの実施など効果的な情報発信を図っていきます。

### (3) 分野（部局）横断的な取組の推進

記念事業は、観光、教育、文化、地域づくりなど幅広い分野で取り組んでいくので、各分野間の情報共有や連携が必要であり、推進協議会や県庁内推進本部を中心にネットワークの強化に努めます。

## 7 ロゴマーク

記紀編さん1300年記念事業を県・市町村・民間団体等が一体的・総合的に展開し、県内外へのアピール力を高めるため、ロゴマークを作成しています。

ロゴマークは推進協議会を構成する各団体等のみならず広く一般に公開し、記紀編さん1300年記念事業に沿った事業・取組や本県の魅力発信のために幅広く活用するものです。

(活用例) 名刺、ポスター、パンフレット、ホームページ、会議資料 など

### 記紀編さん1300年記念事業ロゴマーク



#### <コンセプト>

- 日向神話の舞台である山・溪谷（里）・海を表現
  - ・天孫降臨神話の舞台である「山」
  - ・緑に覆われた「溪谷」
  - ・海幸山幸神話の舞台である「海」
- 「山」と「溪谷」でMiyazakiの「M」を表現
- 海の波（渦巻き）で海幸山幸に由来する「釣り鉤」を表現
- 色調は太陽を浴びて輝く山の赤、溪谷の緑、海の青で宮崎の豊かな大自然を表現

※ ロゴマークのデータは県ホームページに掲載していますので、ご活用ください。

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kiki1300nen/kikihensan.html>

## 8 策定経過

推進協議会企画運営委員会において検討を行うとともに、学術、観光、文化等各分野の有識者との意見交換、市町村や構成団体の意見を踏まえ策定作業を行いました。

※企画運営委員会：推進協議会構成79団体のうち、経済・民間団体、マスコミ、市長会、町村会、県等の18団体で構成（委員長：宮崎県副知事）。

会議では、毎回、庁内関係各課も同席の上、アドバイザーやゲストスピーカーによる記紀や神話、地域振興に関する特別講演を実施。

平成24年7月25日	第4回企画運営委員会 ・基本構想（素案）について意見交換
8月31日	県内市町村へ基本構想（素案）について意見照会
9月3日	有識者との意見交換会① 【学術、神社、観光ガイドボランティア関係】
10月17日	有識者との意見交換会② 【観光、運輸、流通関係】
10月29日	有識者との意見交換会③ 【文化、食、美術関係】
11月19日	第5回企画運営委員会 ・基本構想（案）について意見交換
11月26日	県内市町村、推進協議会構成団体への意見照会
平成25年2月19日	推進協議会総会にて決定



# 参 考 资 料



## 神話のふるさと みやざき

### <712年 古事記紀編さん>

元明天皇の命を受けた太安万侶が、稗田阿礼が暗唱していた「帝紀」「旧辞」を基礎に書物としてまとめたもので、現存する最古の歴史書と言われている。

古事記は上・中・下の3巻からなるが、上巻は3つの舞台で構成され、天上の世界・高天原を描いた「高天原神話」、出雲の神々の活躍と国譲りを描いた「出雲神話」、そして日向国を舞台に天孫降臨から神武天皇までの物語を描いた「日向神話」となっている。

また、中・下巻は初代神武天皇から第33代推古天皇までの系譜やその間の出来事などが収められている。

### <720年 日本書紀編さん>

舎人親皇が中心になって編さんされた我が国最初の官選国史であり、全30巻系図1巻で構成されている。

1・2巻は神代の物語で、3巻以降は神武天皇から持統天皇までの出来事などが描かれている。

### <日向神話>

日向神話は「神の時代」と「人の時代」を結ぶ部分であり、神武天皇に至るまでの、天皇の先祖となるニニギノミコ、ホオリノミコ、ウガヤフキアエズノミコと続く「日向三代」の様々な物語となっている。

#### ○天孫降臨の物語

アマテラスオオミカミの孫であるニニギノミコが「筑紫の日向の高千穂の久士布流多氣」に降り立つ。

#### ○ニニギノミコとコノハナサクヤヒメの物語

降臨したニニギノミコと山神の娘コノハナサクヤヒメは結婚し、その間にホデリノミコ、ホスセリノミコ、ホオリノミコが誕生する。

#### ○海幸山幸の物語

ホデリノミコ(海幸彦)から借りた釣鉤を無くしたホオリノミコ(山幸彦)はその釣鉤を探しに出发、海神の娘トヨタマヒメと出会い結ばれる。地上に戻ったホオリノミコは海神から授かった秘宝を操りホデリノミコを服従させる。

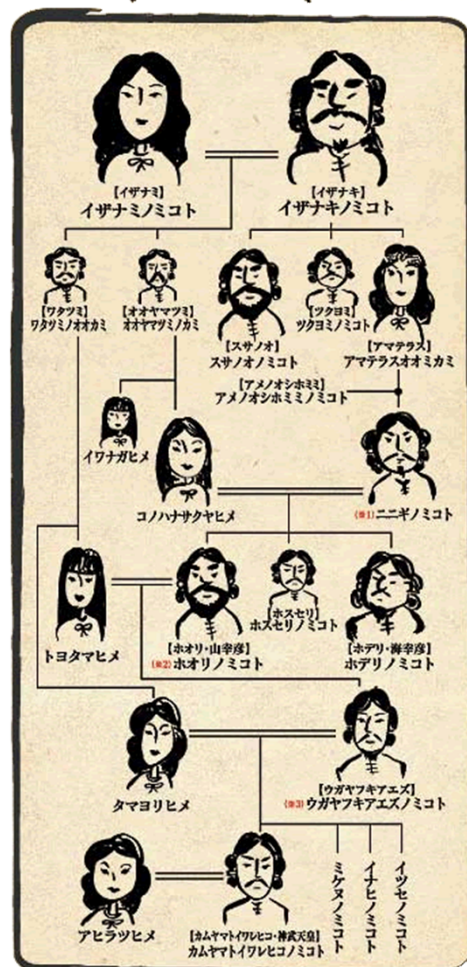
#### ○ウガヤフキアエズノミコの誕生の物語

トヨタマヒメは自身の出産時の姿をホオリノミコに覗き見られ、生まれたばかりのウガヤフキアエズノミコを置いて海に帰る。子育てを任せるため遣わした妹のタマヨリヒメとウガヤフキアエズノミコは後に結婚する。

#### ○神武東征の物語

ウガヤフキアエズノミコとタマヨリヒメの間に生まれたカムヤマトイワレヒコ、後の第一代の神武天皇は、よりよい国を治める地を大和に求めお船出をする。

## 神の系図



※ 日向三代とは  
高天原から降臨されたニニギノミコ(※1)からホオリノミコ(※2)、ウガヤフキアエズノミコ(※3)までを日向三代と呼びます。

## ～宮崎には古事記・神話等につわる史跡や伝統行事等がたくさん！～

「高天原神話」の中にも、アマテラスオオミカミら3貴子が誕生した「筑紫の日向の橘の小門の阿波岐原」や「禊池」など宮崎県にゆかりの地が多く描かれており、「日向神話」とあわせ、古事記上巻の多くが日向を舞台に描かれている。

そして、県内には、古事記・神話等につわるゆかりの地や史跡、神社や伝統行事などが、数多く残されている。



# 国民文化祭について

文化文教・国際課

## 1 国民文化祭とは

全国各地で国民一般の行っている各種の文化活動を全国的規模で発表し、競演し、交流する場を提供することにより、国民の文化活動への参加の気運を高め、新しい芸術文化の創造を促すことを狙いとした文化の祭典。「文化の国体」とも言われ、昭和61年から開催されている。

## 2 近年の開催概要

開催年 開催回数 開催府県	平成21年 (第24回) 静岡県	平成22年 (第25回) 岡山県	平成23年 (第26回) 京都府				
1 開催日数	16日間 (10/24～11/8)	9日間 (10/30～11/7)	9日間 (10/29～11/6)				
2 参加者数	219万人	190万人	441万人				
観客数	215万人	187万人	434万人				
出演者・団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	
	43,729	2,263	28,305	1,706	56,572	2,125	
内訳	県内	30,495	1,473	18,370	1,092	37,677	1,418
	県外	13,099	777	9,834	610	18,707	693
	海外	135	13	101	4	188	14
3 催事数	95事業	68事業	70事業				
4 経済波及効果	179億円	130億円	411億円				
5 主催	文化庁、県、県(府)教育委員会、開催市町村等						

※ 平成24年徳島県は取りまとめ中のため、未公表

## 3 今後の開催県

平成25年…山梨県

平成26年…秋田県

平成27年…鹿児島県 平成28年以降は未定

## 4 県の取組状況

平成24年1月 国民文化祭誘致の検討について表明

5月 市町村・文化団体等へ概要説明

9月 宮崎県芸術文化協会から国民文化祭の誘致の要望書を受理

平成25年1月 国民文化祭誘致について表明

1月 文化庁へ本県開催についての要望書を提出

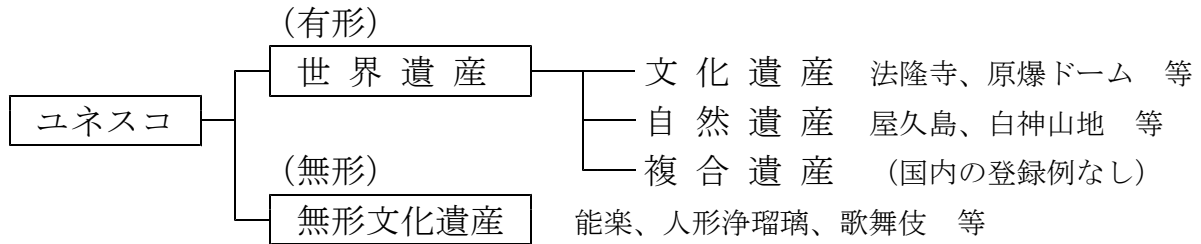
## 5 事業について（平成23年（第26回）京都大会の場合）

- ◎ 主催事業（期間は原則として1週間程度）
  - 総合フェスティバル（4）…府（実行委員会）が実施
    - ・オープニングパレード ・開会式、オープニングフェスティバル
    - ・閉会式、グランドフィナーレ ・リレーシンポジウム「こころを整える」
  - 京都ならではの広域事業（7）…府（実行委員会）が実施
    - ・明日の暮らし文化展 ・シンポジウム「地球と人間」 ・食文化の祭典「海」「里」「京料理」
    - ・由良川・里山文化フェスティバル ・宇治茶の郷フェスティバル ・大茶会 ・大華道展
  - シンポジウム（2）…府及び開催市町村（実行委員会）が実施
    - ・シンポジウム「健康長寿」 ・シンポジウム「里山」
  - 分野別フェスティバル（58）…主に市町村（実行委員会）が実施
    - ① 伝統文化（13）
      - ・民謡・民舞の祭典 ・日本「鬼文化」交流祭典 ・盆踊りフェスティバル ・亀岡祭
      - ・魅せる・人形芝居フェスティバル ・民俗芸能の祭典 ・全国吟詠剣詩舞道祭 ・日本舞踊の祭典
      - ・能楽の祭典 ・邦楽の祭典 ・全国田楽祭 ・和太鼓フェスティバル ・松花堂昭乗展
    - ② 生活文化（13）
      - ・シルクファッションフェスティバル ・赤れんがアートフェスティバル
      - ・マンガアートフェスティバル ・競技文化フェスティバル（将棋、囲碁、百人一首等）
      - ・京の暮らしの文化展 ・生活文化展「花ときものと人形」 ・京のいけばな展
      - ・食文化の祭典「野の恵み」 ・「大茶会」と「灯明アートフェスティバル」
      - ・恭仁京遷都祭 ・食文化の祭典「山の恵み」全国ご当地鍋フェスタ
      - ・宇治茶の郷フェスティバル（南山城村）
    - ③ 文芸（10）
      - ・小町ろまん「短歌大会」 ・与謝蕪村顕彰「俳句大会」 ・民話の祭典 ・冠句の祭典
      - ・現代詩フェスティバル ・連歌の祭典 ・連句の祭典 ・一休とんち大賞
      - ・永谷宗圓「茶」俳句賞 ・川柳の祭典
    - ④ 音楽（11）
      - ・吹奏楽ポップスとジャズの祭典 ・里山合唱フェスティバル ・合唱の祭典
      - ・吹奏楽の祭典 ・ジュニアオーケストラの祭典 ・オーケストラの祭典 in 長岡京
      - ・マーチングフェスティバル ・大正琴の祭典 ・室内楽フェスティバル（ハープ）
      - ・おやじたちのコンサート ・少年少女合唱フェスティバル
    - ⑤ 美術（6）
      - ・美術展「工芸」 ・工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」 ・切り絵の世界「剪画展」
      - ・美術展「日本画、洋画、書、彫刻」 ・「お茶のある風景」フォトコンテスト
      - ・京都映像フェスティバル（連携事業「文化庁メディア芸術祭京都展（アニメーション部門）」）
- ◎ 協賛事業（開催期間は、原則として主催事業の機関を含む3ヶ月程度）
  - ・企業や文化団体、県、市町村等が行う各種事業のうち、文化庁が国民文化祭の趣旨に沿ったものとして承認した事業（実施期間は平成23年4月1日～同年11月30日）。

# 世界遺産について

宮崎県教育庁文化財課

## 1 世界遺産の分類



## 2 世界遺産（文化遺産、自然遺産）

「世界遺産条約」に基づき、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界遺産委員会で決定され、「世界遺産一覧表」に記載される。

遺跡・景観・自然など、人類が共有すべき顕著な普遍的価値を持つ有形の文化遺産、自然遺産が対象となる。

※世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）

文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として、損傷・破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力・援助の体制を確立することを目的とする条約。

※我が国の世界遺産（16件）～平成25年1月現在

### ○文化遺産（12件）

- ①法隆寺地域の仏教建造物
- ②姫路城
- ③古都京都の文化財
- ④白川郷・五箇山の合掌造り集落
- ⑤原爆ドーム
- ⑥巖島神社
- ⑦古都奈良の文化財
- ⑧日光の社寺
- ⑨琉球王国のグスク及び関連遺産群
- ⑩紀伊山地の霊場と参詣道
- ⑪石見銀山遺跡とその文化的景観
- ⑫平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群

### ○自然遺産（4件）

- ①屋久島
- ②白神山地
- ③知床
- ④小笠原諸島

### 3 無形文化遺産

「無形文化遺産の保護に関する条約」に基づき、ユネスコの政府間委員会で決定され、人類の無形文化遺産の代表的な一覧表（代表一覧表）に記載される。

民族音楽・ダンス・劇などの芸能や伝承、社会的慣習、祭礼、伝統工芸技術など無形の文化遺産が対象となる。

#### ※我が国の無形文化遺産（21件）～平成25年1月現在

芸 能	①能楽（のうがく） ②人形浄瑠璃文楽（にんぎょうじょうりぶんらく） ③歌舞伎（かぶき） ④雅楽（ががく） ⑤組踊（くみおどり）
工芸技術	⑥小千谷縮・越後上布（おぢやちぢみ・えちごじょうふ） ⑦石州半紙（せきしゅうばんし） ⑧結城紬（ゆうきつむぎ）
風俗慣習	⑨日立風流物（ひたちふりゅうもの） ⑩京都祇園祭の山鉾（やまほこ）行事 ⑪甕島（こしきじま）のトシドン ⑫奥能登（おくのと）のあえのこと ⑬壬生（みぶ）の花田植
民俗芸能	⑭早池峰神楽（はやちねかぐら） ⑮秋保の田植踊（あきうのたうえおどり） ⑯チャッキラコ ⑰大日堂舞楽（だいにちどうぶがく） ⑱題目立（だいもくたて） ⑲アイヌ古式舞踊（こしきぶよう） ⑳佐陀神能（さだしんのう） ㉑那智の田楽（なちのでんがく）

### 4 本県の神楽について

神楽は、神社の祭礼時に神楽殿などで行われる歌舞・舞楽であるというのが一般的である。

本県の神楽の伝承状況を見ると、九州山地帯の神楽と平野部の神楽が大半を占め、これに霧島山系の神楽が加わっている。



九州山地や霧島山系に伝承される神楽は、祭りの場に神を勧請して託宣を聞き、神威を具体化してみせるものであり、また、予祝を兼ねた農耕儀礼的特色を持っている。

九州山地の神楽では、狩猟儀礼を導入した演目が、平野部の神楽では、稲作に関する演目が、沿岸沿いには漁撈を組み込んだ演目が多く見られている。

また、本県の神楽は、古い芸能の形を残しながら、地元の人々の生活の中で生きており、時間による分類では、夜神楽や半夜神楽及び昼神楽、季節による分類では、春神楽、冬神楽など多様な神楽が各地で舞われている。

※参考

国の重要無形民俗文化財に指定されている神楽

米良神楽（銀鏡神楽）（昭和52年指定）

高千穂の夜神楽（昭和53年指定）

椎葉神楽（平成3年指定）

高原の神舞（平成22年指定）

## 5 西都原古墳群について

西都市街地の西方に広がる標高約60mの台地上と、それより一段低い段丘上に分布する一大古墳群である。大正元年（1912）から6年にかけて、わが国初の学術調査が行われている。

約58万㎡に及ぶ史跡地内には309基の古墳があり、昭和9年に国の史跡に、昭和27年には特別史跡に指定された。

また、台地のほぼ中央には宮内庁の陵墓参考地に治定されている2基の古墳（男狭穂塚・女狭穂塚）のほか、多くの横穴・地下式横穴が見られるなど、3世紀から7世紀にかけての多様な埋葬のあり方を知ることができる。

同古墳群では、昭和40年から実施された「風土記の丘」保存整備事業により、芝貼りや樹木の植栽、資料館建設などが行われ、史跡公園としての整備が進められた。

平成7年度からは、宮崎県教育委員会による発掘調査や古墳の整備が行われ、これまでに、前方後円墳の埋葬主体見学施設（13号墳）や、横穴・地下式横穴見学施設（酒元ノ上横穴墓・4号地下式横穴墓）、横穴式石室の補修（鬼の窟古墳）、葺石の露出表示（100号・171号）などが完了している。

さらに、平成16年4月には県立西都原考古博物館が開館した。

また、宮崎県教育委員会では、宮内庁の許可を受けて、男狭穂塚・女狭穂塚の測量図作成や地下マップを制作するとともに、広大な古墳群のうち中心的分布域について地中レーダー探査を実施した。





**記紀編さん1300年記念事業**

# **平成24年の取組状況**

取 組 一 覧

1	青島神社裸まいり	H24年1月
2	奈良県主催「全国古事記ゆかりの地サミット」への参加	
3	神話の高千穂建国まつり	2月
4	各種媒体を活用した神話・伝承やゆかりの地、記念事業等の広報活動	
5	「高千穂の夜神楽」シンポジウム	
6	古事記・日本書紀コーナー設置	
7	「みやざきの言の葉ー神話・伝承、民話編ー」の作成	3月
8	小学校社会科副読本の改訂	
9	宮崎たまゆら温泉かぐらまつり	
10	「天尊降臨ヒムカイザー」キャラクターショー	
11	宮崎空港 古事記編さん1300年関連企画展の実施	
12	PR効果の高い雑誌社とタイアップした情報発信	
13	旅の案内誌「みちくさ」古事記編さん1300年記念特集企画	
14	古事記編さん1300年記念Beam Painting(ビームペインティング)	
15	奈良新聞 別刷り特集	
16	神武様お船出街道ガイドマップの作成	
17	宮崎恋旅「ケータイ片手に恋つ神キャンペーン」	4月
18	「みやざき犬 かあくん」古代人バージョン誕生	
19	MRTラジオ番組「武坊・淳子的 ひむか古事記物語」の放送開始	
20	神話巡りワンコインツアーの実施延長	
21	古事記編さん1300年記念「梅原猛氏講演会」	
22	延岡市 「漫画で読む ひむかの神話と伝説」の作成	
23	NEXCO西日本 日本古代ドライブラリー「やまところ周遊記」	
24	フェニックスシーガイアリゾート 古事記編さん1300年記念企画	
25	青島パームビーチホテル 古事記編さん1300年記念企画	
26	「青島玄米御菓子」の商品開発・販売	
27	東京丸の内朝大学でのビジネスマン向け講座の開講	
28	神話のふるさと みやざきをPRする文房具	
29	神話や伝承を題材にしたオペラ作品のDVD作成	
30	古事記編さん1300年、西都原古墳群発掘100年記念講演会	
31	西都原考古博物館特別展	
32	宮崎市立図書館 記紀編さん1300年記念展	
33	宿泊客を対象にした「みやざきミッシパスポート」の発行	5月
34	古事記編さん1300年記念 第2回このはな館ちびっこ祭り	
35	「さいとこゆ観光ネットワーク」の設立	
36	第10回環霧島会議の開催	
37	古事記編さん1300年記念研究会 講座等の開催	
38	県政テレビ番組での情報発信	
39	神武の里たかはる 日帰りウォーキングと神話探訪ツアー	
40	宮崎県文書センターミニ展示	
41	日向神話を楽しく学べるトイレ用手ふきタオルの製作	
42	宮崎山形屋 古事記編さん1300年記念「島根・鳥取物産展」の開催	
43	みやざき物産館KONNE「ひむか自慢フェア」第一弾	
44	県立高原高等学校 古代米の田植え	6月
45	古事記学会大会において次回大会の本県開催決定	
46	神話のふるさとでフラを楽しむ♪「モク・オ・ケアヴェ ウィーク宮崎」	
47	みやPEC推進機構 古代衣装で県産酒米田植え	
48	日民宮崎はまゆう会 「民謡の祭典」	
49	西都市観光協会「ゆるキャラ」お披露目会	

50 宮崎市立佐土原図書館 記紀編さん1300年記念展

- 
- 51 記紀編さん1300年記念 駐日ドイツ大使講演会 7月  
52 「古事記編さん1300年記念 図書館交流展示」  
53 古事記編さん1300年記念 海幸山幸バスツアー  
54 地方自治法施行60周年記念貨幣の製造及び「造幣局 in 宮崎」の開催  
55 古事記編さん1300年記念クルーズ「お船出の地から巡る日向神話の旅」  
56 クラブツーリズム 編さん1300年記念 古事記の旅  
57 北ひむか神話の郷スタンプラリー  
58 「みやざきキャラワン隊」の結成  
59 古事記テーマの児童文学「西都原古墳漂流記」  
60 ひゅうがお船出プロジェクト お船出海道クルーズ細島港から宮崎港へ  
61 JRP日本語サミット宮崎特別企画  
62 みやざき青島サマーフェスタ  
63 子どものための「みやざきの言の葉」講座  
64 まつりえれこっちやみやざき

- 
- 65 第1弾 ～夏の陣～ 神々の恋を巡る夏 ドライブ★スタンプラリー 8月  
66 ～青島「渚の交番」海幸彦 山幸彦 宣伝ノ命(みこと)～「渚の笑(しょう)学校」  
67 フローランテ宮崎・グルメとランタンナイト  
68 神話のふるさと みやざき 「神☆コレ」  
69 古事記輪読会  
70 日向サンパーク温泉 「美々津あじわい御膳」  
71 古事記編さん1300年 高千穂を学んで古事記を知ろう「第10回高千穂検定」  
72 古事記編さん1300年記念 このはな館納涼祭り  
73 ヒルクライム チャレンジ シリーズ2012高千穂天岩戸プレ大会  
74 岩戸投げ3年ぶりの復活「サルタフェスタ2012」  
75 日向神話・日之影講演会  
76 公民館における講座の実施

- 
- 77 古事記編さん1300年記念里中満智子講演会 9月  
78 おきよ丸の制作体験  
79 「神話博しまね」へのブース出展  
80 神武天皇ご東遷キャンペーン  
81 古事記編さん1300年記念シンポジウム「神話の魅力ー古代人の信仰と伝承」  
82 「イワクラサミット」IN日向 ～古事記と巨石記念物～  
83 神武天皇お舟出海道を巡る旅！バスツアー  
84 神話パネル展～古事記編纂1300年記念  
85 日本舞踊の公演会「県民芸術祭 古典・創作舞踊の世界」  
86 早稲田大学とタイアップした講座の実施  
87 南九州とヤマト王権ー日向・大隅の古墳ー

- 
- 88 神話にゆかりの名所における神話ボランティアガイドの配置 10月  
89 「ディスカバーみやざき 古事記をゆく浪漫紀行」キャンペーン  
90 古事記編さん1300年記念パネル展～日向神話の舞台を知ろう！旅を知ろう！～  
91 日本橋高島屋 日向自慢みやざき展  
92 日向市と熊野市（三重県）との交流事業  
93 県内3神社による「皇祖発祥の地」PR  
94 福岡における宮崎PRイベント「みやざきweeeek」  
95 平成24年度特別展 『古事記』と日向国』の開催  
96 「古事記」・「日本書紀」時代の日向国に関する講演会  
97 「浅野温子よみ語り」の宮崎公演  
98 全国なぎさシンポジウムinみやざき  
99 「高千穂の夜神楽の神髓に触れる旅」の実施  
100 お船出ダクワーズ

- 101 県庁本館前庭で神楽を披露
- 102 小中高による記・紀の道散策交流活動
- 103 市制施行80周年記念事業「延岡をめぐる4Dayマーチ」
- 104 古事記編さん1300年関連展示
- 105 宮崎神宮大祭
- 106 古事記編さん1300年記念 第26回西都古墳まつり御神火トーチリレー
- 107 夢創り人活性化事業・家庭教育学級事業
- 108 都城盆地博覧会 神話ゆかりの史跡探訪

- 
- 109 記紀みらい塾 11月
  - 110 「第26回西都古墳まつり」とのタイアップイベント
  - 111 古事記に登場する神宝の公開
  - 112 古事記ゆかりのご当地グルメまつり
  - 113 交差する歴史と神話 みやざき発掘100年シンポジウム
  - 114 第26回「みやざき民俗芸能まつり」
  - 115 神宮・神社で舞う観光神楽
  - 116 古事記ゆかりの地を紹介するDVDの作成・販売
  - 117 宮崎市民吹奏楽団 古事記をテーマに新曲「神々の系図」を発表
  - 118 神話市民大学
  - 119 森林セラピーツアー「癒やしの森で日向神話の舞台を巡る旅」
  - 120 日向市内の古事記・日本書紀に関係する伝承地の見学会
  - 121 古代衣装で議会を開会
  - 122 神話をモチーフにした新商品「甘酒アイス」の開発・販売
  - 123 古事記編さん1300年記念首都圏シンポジウム
  - 124 八百万の神々が笑う 神楽と神話のアートフェスティバル 「カムヤマト」
  - 125 村所驛まつり
  - 126 MRTラジオウオーク「神話伝説！お舟出海道 日向岬に行く！」
  - 127 古事記編さん1300年記念グッズの製作・販売
  - 128 日南市 神社観光の宿泊者へのレンタカー補助

- 
- 129 高千穂高校生 東京銀座で夜神楽を披露 12月
  - 130 東京国立博物館との博物館考古資料相互活用促進事業によるPR
  - 131 西米良村 冬の語り「と申すかつちん」
  - 132 古事記編さん1300年記念講演会 祭りをどう見るかー美学の立場から
  - 133 奈良県主催「古事記出版大賞」における「宮崎ひむか賞」
  - 134 生目の杜遊古館主催イベント「古代米で餅つきをしよう」
  - 135 日南市 古事記を学ぶ市民大学講座
  - 136 特別講演会「日本の始原を問う～神話と自然をめぐる～」
  - 137 「記紀編さん1300年 神話のふるさと みやざき」新聞広告
  - 138 都城興玉神社夜神楽大祭
  - 139 西都原ガイダンスセンターこのはな館 「古事記編さん1300年記念御膳」

- 
- 140 「日本人の源流・神話を訪ねて 西日本特集」新聞広告 H25年1月以降
  - 141 神話巡りバスツアー「県南コース」と「県西コース」の新設
  - 142 宮崎ー福岡高速バス「フェニックス号」ラッピング
  - 143 神話巡りタクシーツアーの実施
  - 144 奈良県主催 首都圏記紀シンポジウムへの参加
  - 145 延岡の神話伝説について考える記紀編さん1300年記念シンポジウム
  - 146 首都圏における「みやざきweek2013」の開催
  - 147 県内の埋もれた神話、伝説を収集し冊子に
  - 148 関西地区における「みやざきweek2013」の開催
  - 149 スピリチュアルひむか観光協議会 宮崎神旅モニターツアーの実施
  - 150 JR西日本タイアップキャンペーン
  - 151 第13回 宮崎たまゆら温泉かぐらまつり
  - 152 「東京ガールズコレクション SPRING LIVE Edition supported by 宮崎恋旅」の開催
  - 153 「NHK BSプレミアム 古事記 日向路を巡る旅」の放送
  - 154 全国のJRグループ主要駅におけるPR

## 1 青島神社裸まいり

期日：平成24年1月9日（月）

内容：日向（ひゅうが）神話の「山幸彦・海幸彦」伝説に基づくもので、山幸彦が海の宮から帰ってくるとの知らせを受けた村人たちが、着衣をまとう暇もなく浜へ飛び出して出迎えたという伝承を再現したもの。

主催：青島裸まいり実行委員会



## 2 奈良県主催「全国古事記ゆかりの地サミット」への参加（観光推進課）

期日：平成24年1月29日（日）

場所：東京都

内容：古事記ゆかりの地を代表する各県の知事が、古事記・日本書紀・万葉集を通じて発信する地域の魅力とその取組をシンポジウムにて紹介。

参加：宮崎県、福井県、奈良県、鳥取県、島根県

## 3 神話の高千穂建国まつり

期日：平成24年2月11日（土）

内容：古代衣装に身を包んだ参加者達が高千穂神社からくしふる神社までの沿道をパレード。前夜祭ではミスター神様やミス神様等を選ぶ神様コンテストや神楽の奉納などのイベントを実施。

主催：神話の高千穂建国まつり実行委員会



## 4 各種媒体を活用した神話・伝承やゆかりの地、記念事業等の広報活動（秘書広報課）

県広報：平成24年6月～25年2月号の表紙に

「古事記ゆかりの伝承地」シリーズを掲載。

県政テレビ：MRT～平成24年2月18日（土）、

平成24年6月9日（土）放映

UMK～平成24年5月27日（日）、

平成24年12月23日（日）放映

その他：新聞紙面広告、ソーシャルメディア、報道機関への情報提供等による行事・イベント等の案内。



## 5 「高千穂の夜神楽」シンポジウム

期日：平成24年2月19日（日）

場所：高千穂町自然休養村管理センター

主催：(社)高千穂町観光協会

## 6 古事記・日本書紀コーナー設置（生涯学習課、文化財課）

内容：県立図書館、西都原考古博物館において、関連図書コーナーを設置。

7 「みやざきの言の葉—神話・伝承、民話編—」の作成  
(生涯学習課)

内容：県内に伝わる神話・伝承や民話をまとめた冊子と音声CDを作成し、市町村立図書館や学校、公民館等に配布及び県立図書館HPに公開。  
完成：平成24年3月



8 小学校社会科副読本の改訂 (学校政策課、教育庁総務課)

内容：H24年度使用版において、各市町村に伝わる神話・伝承の紹介マップや神話のページを新設。HP「ひむか学ネット」に主な神話や伝承を掲載。  
対象：小学校3年生及び4年生(社会科副読本)

9 第12回 宮崎たまゆら温泉かぐらまつり

期間：平成24年3月2日(金)～24日(土)  
内容：毎週末大淀川河畔ホテルでの神楽奉納  
主催：宮崎たまゆら温泉かぐらまつり実行委員会



10 「天尊降臨ヒムカイザー」キャラクターショー

内容：古事記(神話)を題材としたヒーローによるキャラクターショーを県内各地で開催。子どもたちの神話に触れるきっかけづくりに寄与。  
主催：(株)グーニーズ

11 宮崎空港 古事記編さん1300年関連企画展の実施

期間：平成24年3月3日(土)～3月8日(木)  
場所：宮崎空港ビルオアシス広場  
内容：「宮崎市の観光と物産展」と併せて、古事記編纂1300年記念を盛り上げるための企画展の実施。宮崎市神話・観光ガイドボランティア協会のスタッフによる紙芝居披露、神々の系図を示したパネルの展示、関連DVD放映。



12 PR効果の高い雑誌社とタイアップした情報発信 (観光推進課)

内容：「CARTA新春号」、「婦人画報2月号」、「サライ2月号」、「一個人4月号」、「歴史読本4月号」、「男の隠れ家 特別編集 時空旅人」、「芸術新潮6月号」、「和楽6月号」、「るるぶ古事記1300年古代ロマンの旅」、「財界7月号」等





13 旅の案内誌「みちくさ」古事記編さん1300年記念特集企画 (総合政策課)  
内容：2012年4月号で神話・伝説ゆかりの神社等のいわれや魅力等の情報を紹介。宮崎県、鹿児島県、熊本県、大分県、福岡県内の道の駅等で配布。

14 古事記編さん1300年記念Beam Painting(ビームペインティング) (観光推進課)  
期日：平成24年3月24日(土)  
内容：古事記にまつわるストーリーを幅90mの県立美術館壁面に映写。  
主催：県、みやざき観光コンベンション協会

15 奈良新聞 別刷り特集 (大阪事務所)  
期日：平成24年3月30日(金)  
内容：記紀・万葉特集 「記紀・万葉」ゆかりの地 宮崎県

16 神武様お船出街道ガイドマップの作成 (商工政策課)  
内容：初代神武天皇御生誕伝承地の一つである高原町からお船出をしたと云われる日向市美々津までを古事記等の文献や伝承を基に紹介。  
発行：神武様お船出街道協議会  
完成：平成24年3月

17 宮崎恋旅「ケータイ片手に恋つ神キャンペーン」 (観光推進課)  
期間：平成24年4月1日(月)～9月30日(日)  
内容：県内24か所の「恋旅スポット」を巡りポイントを集め、豪華賞品を当てる。併せてキャンペーンブック(ガイドブック)を作成・配布。  
主催：みやざき観光コンベンション協会

18 「みやざき犬 かあくん」古代人バージョン誕生 (みやざきアピール課)  
期日：平成24年4月5日(木)  
内容：古事記ゆかりの宮崎県を県内外に強力に情報発信



19 MRTラジオ番組「武坊・淳子の ひむか古事記物語」の放送開始 (観光推進課)  
期間：平成24年4月7日(土)～9月29日(土)の毎週土曜、全26回  
内容：知っていそうで知らない宮崎ゆかりの古事記のストーリーを日本昔話チックに、ユーモラスに再現。

20 神話巡りバスツアーの実施 (観光推進課)  
期間：平成24年1月～9月の土日祝日のうち指定日  
平成24年10月～平成25年3月の土日祝日  
内容：「宮崎・西都コース」及び「日向・高千穂コース」の2コース※「日向・高千穂コース」は4月から  
料金：500円(1月～9月)、  
1300円(10月～3月)  
主催：県、みやざき観光コンベンション協会



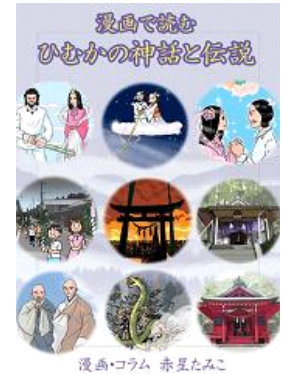
21 古事記編さん1300年記念「梅原猛氏講演会」 (観光推進課)

期日：平成24年4月15日(日)  
場所：シーガイアコンベンションセンター  
演題：「古事記編さん1300年記念 梅原猛  
日向神話の魅力を語る」  
参加者：約1,200人  
主催：県、みやざき観光コンベンション協会



22 延岡市 「漫画で読む ひむかの神話と伝説」の作成

内容：県北9市町村に伝わる神話などをまとめた漫画本を作成。県内各市町村の庁舎、図書館、小中学校、観光協会に配布。



23 NEXCO西日本 日本古代ドライブラリー「やまところ周遊記」

(観光推進課)

期間：平成24年4月16日(月)～12月31日(月)  
内容：古事記・古代ゆかりの地等から選定した周遊スポット(西日本各地全43か所(うち県内5か所))を、カードを収集しながら巡る広域観光連携キャンペーン  
※県内ポイント：みそぎ池、青島神社、美々津、天岩戸神社、西都原古墳群

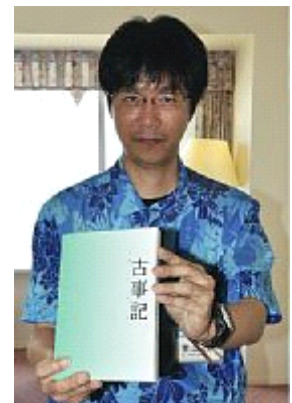
24 フェニックスシーガイアリゾート 古事記編さん1300年記念企画

内容：神話をイメージしたスイーツやパン、本格焼酎を使ったカクテルなど、歴史ロマンを食で楽しむメニューを用意。さらに、神話に思いを馳せるアクティビティープログラムも。



25 青島パームビーチホテル 古事記編さん1300年記念企画

内容：ホテルの全客室214室に古事記(現代語訳)を設置。そのほか、青島を舞台にした山幸彦と豊玉姫の縁結び神話を表現した記念スイーツ等のメニューを用意。



26 「あおしまげんまいおんかし青島玄米御菓子」の商品開発・販売

主体：「青島観光六社会」と「青島神社」、「宮崎食研」  
内容：日向神話にちなみ青島の海水から採取した「青島御神塩」を用いており、県産米をベースにあられに似た食感のお菓子を開発。「縁結び」や「金運」などに御利益があるとし、青島地区限定販売。

- 27 東京丸の内朝大学でのビジネスマン向け講座の開講 (観光推進課)  
期間：平成24年4月18日(水)～6月20日(水)の8回講座(春学期)  
平成24年10月17日(水)～12月12日(水)の8回講座(秋学期)  
定員：各学期50名  
内容：古事記編さん1300年を迎えるに当たって、日向神話について分かりやすく、楽しく学ぶ。宮崎県でのフィールドワークも行われた。  
主催：丸の内朝大学企画委員会
- 28 神話のふるさと みやざきをPRする文房具  
商品：古事記編さん1300年記念事業のロゴマークが入ったスケッチブック、メモ帳等の文房具を作成・販売。  
企画：マルマン(株)、宮崎マルマン(株)(日南市北郷町)
- 29 神話や伝承を題材にしたオペラ作品のDVD作成  
主体：宮崎県オペラ協会  
内容：これまで協会で作成した「鬼八」や「炎の姫」など本県の神話や伝承を題材にしたオペラ作品をとりまとめたDVDを作成。
- 30 古事記編さん1300年、西都原古墳群発掘100年記念講演会 (文化財課)  
期間：平成24年4月21日(土)～7月14日(土)の毎月1回、計4回開催  
場所：宮崎県立西都原考古博物館  
主催：特定非営利活動法人 i さいと
- 31 西都原考古博物館特別展 (文化財課)  
期間：平成24年4月27日(金)～7月8日(日)  
題目：「蒼き海路を統べるものー古墳時代前半の日向海岸部ー」
- 32 宮崎市立図書館 記紀編さん1300年記念展  
期間：平成24年4月～25年3月  
場所：宮崎市立図書館  
内容：「古事記」「日本書紀」「神話」「伝説」に関する図書の展示、古事記に関するマンガ(子ども向け、大人向け)の特設、記紀解説本特設、記紀で繋がる姉妹都市展を実施。  
主催：宮崎市生涯学習課、宮崎市立図書館
- 33 宿泊客を対象にした「みやざきミッシンパスポート」の発行  
期間：平成24年5月3日(木)～9月30日(日)  
内容：県内の神話を学べる施設や観光地など20カ所が割安料金で周遊可能。  
主催：県央地域観光リゾート推進会議(宮崎市、日南市、西都市、国富町、綾町)
- 34 古事記編さん1300年記念 第2回このはな館ちびっこ祭り  
期間：平成24年5月4日(金)  
内容：「古事記」に登場する人物が主役である、西都原に伝わる伝説にちなみ、西都原岩投げ大会や鏡投げ大会を行う等、子ども向けのイベントを実施。  
主催：西都市観光協会



35 「さいとこゆ観光ネットワーク」の設立

期日：平成24年5月7日（月）

目的：西都・児湯の7市町村が連携して広域的な観光事業を展開。

内容：食や農業、記紀編さん記念をテーマにした体験型健康を検討。

36 第10回環霧島会議の開催

期日：平成24年5月18日（金）

場所：都城市総合文化ホール

内容：「新パワースポット 環霧島トライアングル」をテーマに、記紀編さんゆかりの地をはじめとする環霧島地域の魅力の再認識のため、パネルディスカッション等を実施。

主催：環霧島会議（構成：都城市、高原町、小林市、えびの市、湧水町、霧島市、曾於市）

37 古事記編さん1300年記念研究会 講座等の開催

期間：平成24年5月20日（日）～平成25年3月20日（水・祝）までの原則、毎週日曜日

内容：『「古事記」と日向神話』を研究課題として、講座（22回）、現地見学会（7回）、シンポジウム（2回）を開催。（定員150名）

講師：北郷泰道（県埋蔵文化財センター所長）、永松敦（宮崎公立大学教授）、大館真晴（県立看護大学准教授）

38 県政テレビ番組での情報発信（秘書広報課広報戦略室）

放送：5月27日（日）「みやざきゲンキTV」、6月9日（土）「おしえて！みやざき」にて、「古事記編さん1300年」を紹介。

39 神武の里たかはる 日帰りウォーキングと神話探訪ツアー

期日：平成24年5月27日（日）

内容：神武天皇ゆかりの神話にちなんだ狭野神社や皇子原神社、霧島東神社などを探訪するガイド付きのツアーを実施。

主催：神武の里たかはる登山とウォーキング運営委員会（事務局：高原町まちづくり推進課）



40 宮崎県文書センターミニ展示（総務課）

期間：平成24年5月28日（月）～7月27日（金）（ただし、土日除く）

場所：宮崎県文書センター（県庁5号館）1階閲覧室（入場無料）

内容：「古事記ゆかりの日向の神話伝承」

41 日向神話を楽しく学べるトイレ用手ふきタオルの製作

商品：「みそぎ池と天の岩戸隠れ」、「天孫降臨と海幸山幸」、「鶺鴒の豊玉姫と美々津お船出」の3種類の絵柄を用意し、1枚に2つの物語をプリント。

企画：障害者就労支援施設「やじろべえ」（宮崎市）



- 42 宮崎山形屋 古事記編さん1300年記念「島根・鳥取物産展」の開催  
期間：平成24年5月30日（水）～6月4日（月）  
場所：宮崎山形屋 新館5階大催事場  
内容：神々の国島根県をもっと近くに感じて頂くための初企画。併せて本県のPRのため、神楽、講演会等のイベントを実施。  
主催：(株)宮崎山形屋

- 43 みやざき物産館KONNE「ひむか自慢フェア」第一弾  
期間：平成24年5月30日（水）～6月4日（月）  
内容：シーガイアキッチンカーによる古代米を使用したレッドカレーや店内イベント、記紀ゆかりの商品を中心とした商品展示など県産品の良さのPR及び販売。

- 44 県立高原高等学校 古代米の田植え（学校政策課、農政企画課）

期日：平成24年6月6日（水）  
内容：地元の農事組合法人「はなどう」との連携事業で、県総合農業試験場から無償提供を受けた赤や紫など5種類の古代米（観賞用稲）の種子を用いて田んぼアートに挑戦。絵柄は「たかはる」の文字や高千穂峰、新燃岳の噴煙など。



- 45 古事記学会大会において次回大会の本県開催決定  
期間：平成24年6月16日（土）～6月19日（火）  
場所：奈良県新公会堂  
内容：皇學館大教授の毛利正守氏らの講演や研究発表、壬申の乱の跡を巡る臨地研修が行われた。奈良国立博物館では、古事記学会と共催で古事記1300年の歩みを振り返る特別展が開催された（7月16日まで）。

- 46 神話のふるさとでフラを楽しむ♪「モク・オ・ケアヴェ ウィーク宮崎」  
期間：平成24年6月20日（水）～7月7日（土）  
内容：「宮崎の神話とフラ」の融合をテーマに、青島神社での奉納フラやハワイアンカルチャー教室、宮崎空港ビルではハワイの雑貨などを販売する「アロハガーデン」などを開催した。  
主催：宮崎市観光協会

- 47 みやPEC推進機構 古代衣装で県産酒米田植え  
期日：平成24年6月23日（土）  
内容：記紀編さん1300年を記念して、日本酒発祥の地にちなみ、県産の酒米「はなかぐら」を田植え、10月中旬に収穫され、県内で加工。「甘酒&シュワシュワ発泡日本酒づくり」をスタートさせる。



主催：みやPEC推進機構（事務局：宮崎市農商工連携室）

48 日民宮崎はまゆう会 「民謡の祭典」

期日：平成24年6月24日（日）

内容：宮崎市内の民謡愛好家で作る宮崎はまゆう支部が毎年開催。古事記編さん1300年を記念して、「ひむか神話街道」沿いの地域の民謡など65曲を披露。

主催：日本民謡協会宮崎はまゆう支部

49 西都市観光協会「ゆるキャラ」お披露目会

期日：平成24年6月27日（水）

内容：西都原古墳群発掘開始100年、古事記編さん1300年を記念して「ゆるキャラ」を作った。古事記に登場するニギノミコトとコノハナサクヤヒメにちなんだ「ニギくん」と「コノハナちゃん」の夫婦を披露した。

参加者：60人

50 宮崎市立佐土原図書館 記紀編さん1300年記念展

期間：平成24年6月～平成25年3月

場所：宮崎市立佐土原図書館

内容：「古事記」「日本書紀」「神話」「伝説」に関する図書の展示、ひむか神話街道に指定されている「聖地佐野原」の紹介コーナー設置

主催：宮崎市生涯学習課・宮崎市立佐土原図書館

51 記紀編さん1300年記念 駐日ドイツ大使講演会 (総合政策課)

期日：平成24年7月2日（月）

場所：メディキット県民文化センター

内容：古事記に造詣の深い駐日ドイツ大使を「神話のふるさと みやざき」に招き、高校生を対象とした講演会を実施。

なお、当日の様子は県教育情報テレビ

「みらい・みやざき まなび隊 (MRTテレビ)」で放送された。



52 「古事記編さん1300年記念 図書館交流展示」 (生涯学習課)

期間：宮崎県内 7月 3日(火)～7月17日(火)

島根県内 7月18日(火)～7月31日(火)

奈良県内 8月 1日(火)～8月14日(火)

内容：宮崎県立図書館、島根県立図書館、奈良県立図書館が連携して、各県の記紀編さん記念事業の紹介展示や古事記関連の図書資料展示等を巡回して実施。



53 古事記編さん1300年記念 海幸山幸バスツアー

期日：平成24年7月8日（日）、8月5日（日）、9月9日（日）

内容：現地案内・解説付きで、青島神社や鶴戸神宮、「山幸彦」を祀る串間神社、日本で唯一「海幸彦」を祀る「潮獄神社」など「海幸山幸」の神話と伝説を探访するバスツアー（旅行代金5,000円）。

主催：アイ観光バス株式会社

54 地方自治法施行60周年記念貨幣の製造及び「造幣局 in 宮崎」の開催（総合政策課）

期間：平成24年7月11日（水）～7月17日（火）

場所：宮崎山形屋 新館5階大催場（入場無料）

内容：平成24年度に竣工80周年を迎えた「県庁本館」とともに、「高千穂の夜神楽」等の図柄の記念硬貨（千円、五百円）が製造され、展示会「造幣局 in 宮崎」が開催された。展示会では、貨幣に関する貴重な品々を展示したほか、古事記編さん1300年のPRブースを設置。

主催：独立行政法人 造幣局



55 古事記編さん1300年記念クルーズ「お船出の地から巡る日向神話の旅」

期間：平成24年7月14日（土）～17日（火） 422名参加

平成24年11月2日（金）～5日（月） 170名参加

内容：関西中部圏から団体ツアーを造成し、神武天皇お船出の地である細島港及び宮崎港へのクルーズ。船内でのクルーズイベント、神話ゆかりの観光地ツアー、歓迎イベントを実施。

主催：古事記編さん1300年記念クルーズ「お船出の地から巡る日向神話の旅」実行委員会（事務局：宮崎カーフェリー（株））



56 クラブツーリズム 編さん1300年記念 古事記の旅

内容：わが国最古の歴史書「古事記」に描かれた日本神話や歴代天皇・万葉ゆかりの地を案内。宮崎県、島根県、奈良県等の5つの旅行商品を造成。

主催：クラブツーリズム

57 北ひむか神話の郷スタンプラリー

期間：平成24年7月14日（土）～平成25年1月15日（火）

内容：宮崎県北9市町村の観光施設や道の駅等に設置してあるスタンプを集めて応募すると抽選で特産品等が当たるスタンプラリーを開催。

主催：宮崎県北部広域行政事務組合



58 「みやざきキャラワン隊」の結成（みやざきアピール課）

期日：平成24年7月15日（日）

内容：みやざき犬と司会者によるPR隊。古事記「岩戸開き」を基にした寸劇や軽快なダンス「みやざき犬サンバ」で県内外のイベント等に参加し盛り上げる。



59 古事記テーマの児童文学「西都原古墳漂流記」

著者：加藤悦男さん(県立みやざき中央支援学校教諭)

内容：西都市の西都原古墳群を訪れた千葉の中学生が古墳時代にタイムスリップし、様々な冒険を体験するストーリー。

出版：鉦脈社

60 ひゅうがお船出プロジェクト お船出海道クルーズ細島港から宮崎港へ

期日：平成24年7月15日(日)

内容：細島港から宮崎港までの体験航海。参加料は無料で、みなとまつりの関連イベントとして、細島港での日向物産展や洗浄での風船揚げ、古事記編さん1300年記念のクイズ等を行った。(約700名乗船)

主催：ひゅうがお船出プロジェクト推進委員会、県北部地区「海の日」協賛会実行委員会、宮崎市、宮崎カーフェリー

61 JRP日本語サミット宮崎特別企画 (文化文教・国際課)

期間：平成24年7月19日(木)～7月23日(月)

内容：宮崎の宝である「神話」や「伝説」をテーマとした、パネリスト(12カ国、12名)と県内高校生のディスカッションやプレゼンテーション等を開催。

主催：JRP(ジャパンリターンプログラム)



62 みやざき青島サマーフェスタ

期間：平成24年7月21日(土)～8月26日(日)

内容：古事記観光ブース展示のほか神話DVD放映・神話パンフレットを配布。

主体：宮崎市観光協会・青島地域センター

63 子どものための「みやざきの<sup>こと</sup>言の<sup>は</sup>葉」講座 (生涯学習課)

期日：平成24年7月25日(水)、8月1日(水)、8月7日(火)、8月22日(水)  
(1回2時間程度)

場所：県立図書館2階 研修ホール

内容：県内に伝わる神話・伝承や民話、民謡、郷土出身者の文学作品などについての講座を開催

対象：小・中学生(家族同伴も可)及び読書団体・教職員など各講座定員100名

64 まつりえれこっちやみやざき

期間：平成24年7月28日(土)～29日(日)

場所：宮崎市橋通ほか

内容：神話衣装によるダンスを実施し、神話のふるさと宮崎をPR。

主催：えれこっちや振興会

65 第1弾 ～夏の陣～ 神々の恋を巡る夏 ドライブ★スタンプラリー

期間：平成24年8月1日(水)～9月30日(日)

内容：宮崎県内の14箇所の「道の駅」や霧島及び山之口SAを起点として、神話にまつわる恋旅スポットを巡るスタンプラリーを実施。

主催：みやざき観光コンベンション協会



- 66 ～青島「渚の交番」海幸彦 山幸彦 宣伝ノ命(みこと)～「渚の笑(しょう)学校」  
 期日：平成24年8月3日(金)、8月17日(金)、8月31日(金)  
 場所：渚の交番  
 内容：宮崎市長から任命された『青島「渚の交番」海幸彦・山幸彦・宣伝ノ命』が小学生と一緒に夏休みの宿題や自由研究に取り組んだ。  
 主催：宮崎市観光協会

- 67 フローランテ宮崎・グルメとランタンナイト  
 期間：平成24年8月3日(金)～19日(日)  
 場所：フローランテ宮崎  
 内容：神話モニュメントの展示  
 主催：宮崎市観光協会



- 68 神話のふるさと みやざき 「神☆コレ」  
 内容：神話ゆかりの県内の観光名所を巡り、「神様キャラクター」を自分で探したり、他のユーザーと交換しながらコレクションしていくラリーを実施。  
 主催：宮崎市観光協会

アプリをダウンロードし  
 キャラクターを見つけて、GETする



- 69 古事記輪読会  
 期間：年間を通じ10回程度  
 場所：みやざき歴史文化館  
 内容：ガイドの技術向上研修、語り部研修に資するため、古事記の原典、現代語訳を読み分ける。  
 主催：宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会

- 70 日向サンパーク温泉 「美々津あじわい御膳」  
 内容：神武天皇お船出伝説が残る美々津を核に、官民挙げて観光振興を図る事業「ひゅうがお船出プロジェクト」の一環。美々津の食材にこだわった古事記編さん1300年を記念した新メニュー。価格は1300円。



- 71 古事記編さん1300年 高千穂を学んで古事記を知ろう「第10回高千穂検定」  
 期日：平成24年8月4日(土)  
 場所：高千穂町観光協会会議室  
 内容：高千穂野観光地や神話に関する知識を問う筆記試験。合格者は希望すれば、講習会や実地研修を経て有償ガイドになることができる。  
 主催：高千穂町観光協会



**72 古事記編さん1300年記念 このはな館納涼祭り**

期間：平成24年8月4日（土）

内容：古事記編さん1300年にちなみ、特別な西都バーガーをつくり、1300円で販売。またその他、西都古墳太鼓の演奏等各種イベントを実施。

主催：西都市観光協会

**73 ヒルクライム チャレンジ シリーズ2012高千穂天岩戸プレ大会**

期間：平成24年8月18日（土）～19日（日）

内容：天孫降臨で知られる高千穂を舞台に行う全国規模の自転車競技イベント「ヒルクライムチャレンジシリーズ2012」のプレ大会。

参加者：138人

主催：ヒルクライム チャレンジ シリーズ高千穂大会実行委員会（事務局：(社)高千穂町観光協会）



**74 岩戸投げ3年ぶりの復活「サルタフェスタ2012」**

期日：平成24年8月19日（日）

場所：高千穂町総合公園

内容：日本神話に登場する天の岩戸に見立てた壘を投げて距離を競う「岩戸投げ大会」が、古事記編さん1300年を記念して3年ぶりに復活。

**75 日向神話・日之影講演会**

期日：平成24年8月29日（水）

内容：講師として宮崎県文化財保護審議会会長の甲斐亮典氏を招き、日向神話の概要とその意義について講演会を実施。

主催：日之影町

**76 公民館における講座の実施**

期間：平成24年8月（前期）、平成24年10月～12月（後期）

場所：生目南公民館

内容：前期では、講師として早川和子氏を招いて「色の世界」（神話の世界絵本作り）と題して講座を実施。後期では、講師として北郷泰道氏を招いて「日向古代史に学ぶ」と題して講座を実施。

主催：宮崎市

**77 古事記編さん1300年記念里中満智子講演会（観光推進課）**

期日：平成24年9月2日（日）

場所：えびの市文化センター

来場者：500人

内容：「古事記」の世界を体験する映像と音楽と舞踏によるコンサートのほか、「歴史を楽しむ私にとっての古事記」と題した講演会を実施。

主催：県、みやざき観光コンベンション協会



## 78 おきよ丸の制作体験

期日：平成24年9月6日（木）

参加者：100人

内容：美々津小学校の生徒や保護者が参加し、制作したおきよ丸を日向サンパークや美々津軒において展示。

主催：ひゅうがお船出プロジェクト推進委員会

## 79 「神話博しまね」へのブース出展（観光推進課）

期間：平成24年9月8日（土）～9月23日（日）  
の土日祝日全7日間

内容：7月から11月まで出雲市で開催された「神話博しまね」に本県の観光PRブースを出展。

出展：県、みやざき観光コンベンション協会



## 80 神武天皇ご東遷キャンペーン

期間：平成24年9月10日（月）～9月16日（日）

内容：神話発祥の地をPRし、新たな観光ルートづくりに向けて連携を深めるため神武天皇にゆかりのある大分県宇佐市の宇佐神宮や東大阪市日下、奈良県橿原市の橿原神宮などをたどるPRキャンペーン。

主催：宮崎市観光協会



## 81 古事記編さん1300年記念シンポジウム「神話の魅力ー古代人の信仰と伝承」

期日：平成24年9月15日（土）

場所：宮崎公立大学

主催：宮崎公立大学古事記編纂1300年記念研究会

## 82 「イワクラサミット」IN日向 ～古事記と巨石記念物～

期日：平成24年9月15日（土）

場所：日向市文化交流センター大ホール

内容：三上敏視氏（多摩美大講師）を招いて神楽と神楽の音源のルーツに関する講演のほか、鎌田東二氏（京都大学こころの未来研究センター教授）による「古事記にみる日向」をテーマにした基調講演等を実施。

主催：日向市教育委員会 文化スポーツ課

## 83 神武天皇お舟出海道を巡る旅！バスツアー

期間：平成24年9月15日（土）～16日（日）

参加者：10人

内容：宮崎駅東口を始発して、神武天皇お舟出に由来する、大御神社・日向岬・美々津を見学するコースに加え、「おきよ祭り」にも参加するツアーを実施。

主催：ひゅうがお船出プロジェクト推進委員会

**84 神話パネル展～古事記編纂1300年記念**

期間：平成24年9月22日（土）～12月22日（土）

場所：みやぎき歴史文化館

内容：古事記写本、日向神話を題材とした錦絵、日向神話を題材とした神楽・日向神話に関連する祭・神社の写真、戦前・戦中の教科書を展示する企画展を実施。

主催：宮崎文化振興協会

**85 日本舞踊の公演会「県民芸術祭 古典・創作舞踊の世界」**

期日：9月23日（日）

場所：宮崎市民文化ホール

内容：古事記編さん1300年を記念し、古事記にあるアメノウズメノミコトらが天の岩戸に身を隠したアマテラスオオミカミを外に誘い出す創作舞踊「岩戸の舞」など11項目を披露。

主催：花柳流新吾会

**86 早稲田大学とタイアップした講座の実施（観光推進課）**

期間：9月29日（土）～10月27日（土）の  
毎週土曜日全5回

場所：早稲田大学（東京都新宿区）

参加者：各回280人

内容：早稲田大学とタイアップし、「古事記」を  
テーマにした一般社会人向けの講座を実施。

主催：県、早稲田大学



**87 南九州とヤマト王権一日向・大隅の古墳—**

期間：9月29日（土）～12月2日（日）

場所：大阪府立近つ飛鳥博物館

内容：宮崎県から鹿児島県東部にかけての古墳時代の最新の調査成果を紹介する特別展を実施。3回の講演会やシンポジウム等を開催し、南九州とヤマト王権とのかかわりについて考察。新田原、西都原、生目古墳群への特別展関連ツアー（11月28～30日）に50名参加。

**88 神話にゆかりの名所における神話ボランティアガイドの配置**

場所：みそぎ池・江田神社（毎日）、青島神社（毎日）、宮崎神宮（土・日・祝）  
平和台公園（木・金）

内容：これまで2箇所の配置に加え、8月から宮崎神宮に、10月から平和台公園に新たにボランティアガイドを配置し、神話にまつわる観光地などをPR。

主催：宮崎市観光協会

89 「ディスカバーみやざき 古事記をゆく浪漫紀行」キャンペーン (総合政策課)

期間：平成24年10月1日(月)～12月2日(日)

内容：「古事記編さん1300年」をテーマにしたイベントを中心に、古事記関係イベントや祭り、シンポジウム等を一体的・集中的にPR。ガイドブックを作成・配布(16万部)し、テレビや県広報での広報を行ったほか、広い意味での地産地消を絡めた「ディスカバーみやざきスタンプラリー」を実施。



90 古事記編さん1300年記念パネル展～日向神話の舞台を知ろう！旅を知ろう！～

期間：平成24年10月2日(火)～10月21日(火)

場所：県立図書館1Fギャラリー

内容：「みやざきの言の葉」神話編や「ひむか神話街道50の物語集」、「神話に関するお祭り、行事」等の紹介パネルの展示により、日向神話やその舞台となった地域、イベントを紹介。

主催：県立図書館、観光推進課



91 日本橋高島屋 日向自慢みやざき展 (県物産貿易振興センター)

期間：平成24年10月3日(水)～10月8日(月・祝)

場所：日本橋高島屋(東京都中央区)

来場者：29,000人

内容：食料品34、酒類28、工芸品18が出展し、県産品の販路拡大を実施。観光コーナーではPRブースを設け、古事記編さん1300年の各種イベントを紹介。



92 日向市と熊野市(三重県)との交流事業

期間：平成24年10月4日(木)～5日(金)

内容：神武天皇お舟出の地と上陸の地をご縁として、熊野市長が日向市表敬訪問。両市長の共同記者会見を行い、神話ゆかりの地をPRし、囲碁大会への記念品を授与。

93 県内3神社による「皇祖発祥の地」PR

期間：平成24年10月～

内容：神武天皇ゆかりの地を紹介するパンフレットと、朱印帳を作成し、「神話のふるさとみやざき」を県内外にPR。

主体：宮崎神宮、都農神社、狭野神社

94 福岡における宮崎PRイベント「みやざきweeeek」(みやざきアピール課、福岡事務所)

期間：平成24年10月6日(土)～10月31日(水)

内容：神楽の披露や天の岩戸に見立てた畳投げなど「神話のふるさとみやざき」を柱とした宮崎プロモーションや九州国立博物館エントランスホールでの「古事記」をテーマとしたパネル展のほか、「神話のふるさとみやざき美味物語」と題した宮崎の食のPRなど福岡を舞台に実施。



95 平成24年度特別展 『古事記』と日向国の開催

期間：平成24年10月10日(水)～11月18日(日)

場所：県立図書館2F 特別展示室

内容：「古事記」が編さんされた8世紀前後について、「古訓古事記」や「古事記伝」、「続日本紀」、「日本書紀」などを紹介することで、時代背景を理解してもらおうとともに、「古事記」と日向神話との関係についての理解を促進する。

主催：県立図書館

96 『古事記』・『日本書紀』時代の日向国に関する講演会

期日：平成24年10月13日(土)

場所：県立図書館2F 研修ホール

内容：「日向国と『古事記』・『日本書紀』」というテーマのもと、記紀を通して見る古代日向国の様子、近代における記紀と宮崎県との関わりについて、ラ・サール学園の永山修一氏を招いて講演を実施。

主催：宮崎県教職員互助会、NPO法人iさいと(共催：宮崎県立図書館)

97 「浅野温子よみ語り」の宮崎公演(観光推進課)

期間：平成24年10月17日(水)～23日(火)

場所：17日 狭野神社(400人)

来場者 19日 宮崎神宮(1,300人)

21日 青島神社(350人)

23日 高千穂神社(300人)

内容：古事記の物語にオリジナルの脚色を加えて一人語りの舞台として全国の神社などで講演が行われている「浅野温子よみ語り」を実施。

主催：「浅野温子よみ語り」宮崎公演実行委員会



98 全国なぎさシンポジウムinみやざき(河川課)

期間：平成24年10月18日(木)～19日(金)

場所：宮崎市民プラザ オルブライトホール

内容：本県のなぎさについて、防災・古事記・観光(波旅)の3つの要素を統合したコンセプトで開催。

来場者：400人

99 「高千穂の夜神楽の神髓に触れる旅」の実施

期間：平成24年10月19日（金）～21日（日）  
内容：県外からの参加者を対象に3日間、高千穂神社や天岩戸神社など神話ゆかりの地の見学や神楽の鑑賞などを体験。  
主催：高千穂町観光協会



100 お船出ダクワーズ

内容：古代日向の神武東征伝説に出てくるお船出団子を現代風にアレンジ。パッケージに「神話のふるさと みやざき」のロゴマークを使用し、銘菓「お船出ダクワーズ」を販売。  
販売：食匠倶楽部MIYAZAKI

101 県庁本館前庭で神楽を披露（商工政策課）

期間：平成24年10月20日（土）～21日（日）  
内容：分かりやすい解説付きで川坂神楽、坪谷神楽、狭野神楽、桂神楽、野島神楽、尾八重神楽、船引神楽を披露。  
来場者：1,800人（2日間合計）  
主催：宮崎市商店街振興組合連合会



102 小中高による記・紀の道散策交流活動

期日：平成24年10月20日（土）  
内容：小学校9校、中学校6校、高校2校から約160名が参加し、記紀の道に関するクイズに挑戦。交流を深めながら日向神話への理解を促進。  
主催：西都市小中高連携推進委員

103 市制施行80周年記念事業「延岡をめぐる4Dayマーチ」

期間：平成24年10月21日（日）～平成25年2月24日（日）  
内容：市制施行80周年を迎えるにあたり、その一環として、旧1市3町のエリア別に、合計4つのコースを設定し、標記のウォークラリーを実施。北川コースではニニギノミコト陵墓参考地や岩戸神社、延岡コースでは祝子川や愛宕山など神話と関係の深い場所がコースに盛り込まれている。  
主催：延岡をめぐる4Dayマーチin北川、北浦、延岡、北方実行委員会

104 古事記編さん1300年関連展示（文化財課）

期間：平成24年10月24日（水）～12月2日（日）  
場所：宮崎県総合博物館  
内容：古事記に登場する鳥や植物の標本などを展示するとともに、古事記を注釈した古典籍（「古訓古事記」、「古事記標註」）を紹介。

### 105 宮崎神宮大祭

期間：平成24年10月27日(土)～28日(日)

内容：古事記ゆかりの祭礼であり県下最大のお祭りである「神武さま」。今年は古事記編さん1300年を記念して全国から募集した神武ゆかりの神々11神が「神々のパレード」に参加。

来場者：142,000人(2日間合計)  
(例年12万人程度)

主催：宮崎神宮御神幸祭奉賛会



### 106 古事記編さん1300年記念 第26回西都古墳まつり御神火トーチリレー

期間：平成24年10月27日(土)～10月28日(日)

内容：古墳まつり当日に、たいまつ行列・炎の祭典で使用する御神火をニニギノミコトの天孫降臨の地と言われる高千穂町及び高原町で採火し、西都まで多くの方の手を介しながら届けた。

参加者：約300名

主催：西都市観光協会

### 107 夢創り人活性化事業・家庭教育学級事業

期日：平成24年10月27日(土)

場所：宮崎市月見ヶ丘北自治公民館

内容：日向神話紙芝居を実施。

来場者：19人

主催：見ヶ丘北自治会・生涯学習課・神話の語り部・こども文化センター

### 108 都城盆地博覧会 神話ゆかりの史跡探訪

期日：平成24年10月27日(土)

内容：都城盆地の魅力を様々な体験プログラムを通して楽しむ「都城盆地博覧会」において「古事記の神話ひもとくバスツアー」を開催し、東霧島神社や皇子原神社などを探訪。

主催：都城盆地博覧会実行委員会

### 109 記紀みらい塾 (総合政策課)

期日：平成24年11月1日(木)

内容：11月1日の「古典の日」にちなんで小学生が古典に親しむ機会を設けるため、古事記をテーマに小学5年生を対象とした出前授業を実施。

参加者：宮崎市立宮崎小学校5年生(80名)

講師：宮崎県立看護大学 大館真晴准教授





110 「第26回西都古墳まつり」とのタイアップイベント (総合政策課)

期間：平成24年11月3日(土)～4日(日)

来場者：70,000人(前年3万5千人)

内容：西都古墳まつりに新たな魅力として「木村弓さんの音楽世界」を追加。地元との交流から「響演」、そして未来への継承をテーマにしたタイアップイベント。



111 古事記に登場する神宝の公開

期間：平成24年11月3日(土)～4日(日)

内容：「海幸彦山幸彦」に登場する神宝「潮満瓊(しおみつたま)」と「潮涸瓊(しおふるたま)」を初めて一般公開。

主催：鵜戸神宮

112 古事記ゆかりのご当地グルメまつり

期間：平成24年11月9日(金)～11日(日)

内容：集客力のある「食」をメインに、県内各地のほか島根県や奈良県などの古事記にゆかりのある地域のご当地グルメと神楽や能などの伝統芸能のほか、せんとくん、しまねっこ、くまモンなど人気ゆるキャラを集めたご当地キャライベントを実施。

来場者：46,000人(3日間合計)

主催：みやざき観光コンベンション協会



113 交差する歴史と神話 みやざき発掘100年シンポジウム (文化財課)

期日：平成24年11月10日(土)

場所：メディアキット県民文化センター

内容：第1部では、「宮崎の神話を旅する」と題して、古事記の朗読や神話の解説などで故郷宮崎を再発見。第2部では、本県の神話と歴史の接点について、考古学や古代史の視点から検討するシンポジウムを実施。会場ロビーではスイートピー(神話シリーズ)をPR。

来場者：500人



114 第26回「みやざき民俗芸能まつり」

期日：平成24年11月10日(土)

場所：宮崎市民プラザ

内容：生目神楽、大島神社神楽、跡江豊年踊り、曾我兄弟踊り(佐土原)、巨田神楽(佐土原)、上北方なぎなた踊り、木花相撲踊りを披露

主催：宮崎市文化財課

### 115 神宮・神社で舞う観光神楽

期間：平成24年11月10日（土）～平成25年3月30日（土）

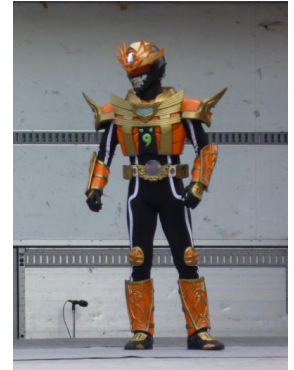
内容：日南市の鶴戸神宮や榎原神社、潮嶽神社の3ヶ所で観光神楽を計10回計画し、一般市民や観光客が見学しやすい時間に無料で公開。

主催：日南市

### 116 古事記ゆかりの地を紹介するDVDの作成・販売

内容：子どもにも神話に親しんでもらうため、青島や江田神社など古事記に登場する地を中心にご当地ヒーロー「天孫降臨ヒムカイザー」らが平和を守り、神話の良さをいま一度見つめ直そうと立ち向かうストーリー。

主体：宮崎市観光協会



### 117 宮崎市民吹奏楽団 古事記をテーマに新曲「神々の系図」を発表

期日：平成24年11月11日（日）

場所：宮崎市民文化ホール

内容：古事記編さん1300年を記念して「古事記」をテーマとする楽曲を作成し、定期演奏会にて披露された。第10回定期演奏会から宮崎に伝わる旋律や伝説、大自然を題材にした委嘱作品をこれまでに23曲発表。

### 118 神話市民大学

期間：平成24年11月15日（木）～12月19日（水）

内容：日向神話勉強会を4回実施したほか、皇宮神社等の現地研修を実施。

主体：宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会

### 119 森林セラピーツアー「癒やしの森で日向神話の舞台を巡る旅」

期日：平成24年11月17日（土）

内容：癒やしの森の案内人をガイド役に日之影町の神社など日向神話ゆかりの地を巡る

主催：日之影町森林セラピー推進協議会

### 120 日向市内の古事記・日本書紀に係る伝承地の見学会

期日：平成24年11月20日（火）

内容：「神武東征説話」と「景行天皇・ヤマトタケル熊襲征圧説話」の二つのルートを巡る見学会

主催：日向市

### 121 古代衣装で議会を開会

内容：県議会においては11月県議会、高千穂町議会及び高原町議会においては12月町議会において古代衣装を着用し、本会議に臨み、「神話のふるさと みやざき」をPR。

(写真は、11月21日の11月定例県議会)



## 122 神話をモチーフにした新商品「甘酒アイス」の開発・販売

内容：都萬神社に祭られるコノハナサクヤヒメが母乳の代わりに子どもに甘酒を与えたという神話になぞられ、西都市内のアイスクリームスイーツ店と連携して開発。西都原考古博物館の展望ラウンジ「桃」で販売。

主体：障害者施設「うからの里」

## 123 古事記編さん1300年記念首都圏シンポジウム（観光推進課）

期日：平成24年11月24日（土）

場所：明治大学駿河台キャンパスアカデミーホール

来場者：900人

内容：奈良県、島根県と連携し、古事記に最もゆかりの深い3県の知事が首都圏において魅力を発信。

主催：宮崎県、明治大学



## 124 八百万の神々が笑う 神楽と神話のアートフェスティバル「カムヤマト」

期日：平成24年11月24日（土）

場所：日向市グリーンパーク

内容：アメノウズメの舞×ベリーダンスなど 神話の物語に新しいエッセンスを注いでつくられる音楽、ダンス、映像のステージや 3000本の竹灯りに、竹を使った巨大オブジェなどを展示。

主催：カムヤマト実行委員会

## 125 村所驛まつり

期日：平成24年11月24日（土）～25日（日）

場所：西米良村大字村所 村所驛

内容：MRTパーソナリティー等による西米良村にゆかりのある神話の朗読を実施したほか、西米良村語り部の会による民話語りの中で、神話を披露。

主催：西米良村観光協会

## 126 MRTラジオウォーク「神話伝説！お舟出海道 日向岬に行く！」

期日：平成24年11月25日（月）

内容：神武天皇がお舟出した地日向岬で「馬ヶ背」や「願いが叶うクルスの海」など全国有数の観光名所をウォーキング。また、会場では歌謡ショーやお楽しみ抽選会の他、お舟出伝説にちなんだ企画を実施。

参加者：300人

主催：MRT宮崎放送、日向市



## 127 古事記編さん1300年記念グッズの製作・販売

商品：「古事記編さん1300年」や「天孫降臨」のロゴ入りTシャツや手ぬぐいの製作

企画：(株) グランドワーククリエーション（宮崎市）

販売：シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートなどシーガイアのホテル3施設

**128 日南市 神社観光の宿泊者へのレンタカー補助**

期間：平成24年11月～平成25年3月

内容：古事記にまつわる日南市内の神社・神宮をまわりホテルなどへの宿泊者を対象にレンタカー1台につき3千円（先着200台）を補助。

実施主体：日南市

**129 高千穂高校生 東京銀座で夜神楽を披露**（観光推進課）

期日：平成24年12月4日（火）

場所：JR有楽町駅前広場（東京都中央区）

内容：修学旅行で上京する機会を活用し、高千穂高校の男子生徒6人が高千穂夜神楽を披露。計3回の公演により「神話のふるさと みやざき」をPR。

**130 東京国立博物館との博物館考古資料相互活用促進事業によるPR**（文化財課）

(1) 東京国立博物館における宮崎県出土考古資料展示「南九州の古墳文化展」

期間：平成24年12月4日（火）～平成25年3月3日（日）

内容：西都原考古博物館所蔵の県内古墳時代資料と、東京国立博物館所蔵の宮崎・鹿児島両県出土の古墳時代資料を展示し、南九州の古墳文化を紹介する。

関連行事：記念シンポジウム「南九州の古墳文化」

平成25年2月23日（土）

東京国立博物館 平成館大講堂

パネリスト：北郷泰道（埋蔵文化財センター所長）、橋本達也（鹿児島大学）、永山修一（ラ・サール学園）、古谷毅（東京国立博物館）、鈴木靖民（横浜市歴史博物館）



(2) 西都原考古博物館における東京国立博物館所蔵考古資料展示

「Collection Gallery展」

期間：平成24年12月14日（金）～平成25年1月14日（月）

主な展示資料：鉄製甲冑（えびの市島内出土）、硬玉製勾玉（川南町出土）他

**131 西米良村 冬の語り「と申すかっちゃん」**

期日：平成24年12月8日（土）、15日（土）

場所：おがわ作小屋村、村所驛

内容：西米良村に残る民話披露イベントの中で、西米良村にゆかりのある神話を披露。

主催：西米良村語り部の会



**132 古事記編さん1300年記念講演会 祭りをどう見るかー美学の立場から**

期日：平成24年12月12日（水）

場所：コミュニティプラザパオ3階（西都市）

内容：京都造形芸術大学の梅原賢一郎教授が国指定無形民俗文化財に指定されている西都市の銀鏡神楽を中心に美学の観点から講演。

参加者：70人

主催：西都市観光協会

### 133 奈良県主催「古事記出版大賞」における「宮崎ひむか賞」

表彰：平成24年12月23日（日）

奈良県新公会堂において表彰式及び記念講演会

内容：優れた出版物を奈良県が「古事記出版大賞」として表彰。また、古事記にゆかりの深い本県並びに島根県も協力し、宮崎県にちなんだ賞として「宮崎ひむか賞」が設けられ、宮崎市在住の湯川英男さんの著書「古事記 神々の詩」が受賞した。

参加：宮崎県、奈良県、島根県



### 134 生目の杜遊古館主催イベント「古代米で餅つきをしよう」

期日：平成24年12月23日（日）

場所：生目の杜遊古館

内容：古代米について学び、さらに餅つき・昔の遊び等を実施。

主催：宮崎市文化財課

### 135 日南市 古事記を学ぶ市民大学講座

期間：平成24年12月から平成25年3月まで毎月1回

内容：県内在住者を対象に古事記や神話を学ぶ座学を開く。また、宮崎市から西都市までを巡る現地研修なども実施。

主催：日南市

### 136 特別講演会「日本の始原を問う～神話と自然をめぐって～」

期日：平成24年12月23日（日）

内容：奈良県立万葉文化館名誉館長 中西 進氏が「日本誕生」、県立看護大学客員教授 伊藤一彦氏が「人間にとっての自然・自然にとっての人間」と題して講演。本県にまつわる神話や自然の意義や現代との関わりについて学んだ。

主催：「日本の始原を問う」講演会実行委員会

### 137 「記紀編さん1300年 神話のふるさと みやざき」新聞広告

(秘書広報課、総合政策課)

掲載日：平成24年12月29日（土）

掲載紙：宮崎日日新聞 全15段（全面広告）・カラー

内容：記紀編さん1300年記念事業のロゴマークのコンセプト（天孫降臨神話の舞台である「山」と海幸山幸神話の舞台である「海」）を写真で表現。記紀編さん1300年記念事業への理解促進、気運の盛り上げを図るための県民向けメッセージを掲載。



### 138 都城興玉神社夜神楽大祭

期日：平成24年12月29日（土）

場所：興玉神社（都城市安久町）

内容：内神殿が国の重要文化財に指定されている「興玉神社」を舞台にした国指定重要無形文化財「高千穂神楽」の上演。

主催：都城興玉神社夜神楽大祭実行委員会

### 139 西都原ガイダンスセンターこのはな館 「古事記編さん1300年記念御膳」

内容：西都産の旬の食材をふんだんに使用し、古事記編さん1300年を記念して作った特別メニュー。第1弾は9月から11月まで販売した。現在、12月から第2弾を販売中。価格は1300円。



### 140 「日本人の源流・神話を訪ねて 西日本特集」新聞広告（総合政策課）

掲載日：平成25年1月1日（日）

掲載紙：産経新聞（東海・北陸以西 90万部）

「日本人の源流・神話を訪ねて」分冊特集  
全7段（1/2広告）・カラー

内容：古事記の「天の岩戸開き」のシーンをインパクトのあるアニメーションで表現し、「神話のふるさと みやざき」をPR。都城市出身のアニメーション作家、外村史郎氏（東京在住）に制作を依頼。



### 141 神話巡りバスツアー「県南コース」と「県西コース」の新設（観光推進課）

期間：平成25年1月12日（土）～12月1日（日）の土日祝日

内容：現在実施中の「宮崎・西都コース」と「日向・高千穂コース」に加え、「県南コース」と「県西コース」の2コースを新設し、神話観光周遊ルートの実現を図る。

料金：1,300円



#### ※「宮崎・西都コース」のリニューアル

期間：平成25年1月5日（土）～3月31日（日）の土日祝日

内容：従来の「宮崎・西都コース」のルート変更や、料金そのままに西米良おがわ作小屋への立ち寄りなどリニューアルを図る。

### 142 宮崎ー福岡高速バス「フェニックス号」ラッピング

期間：平成25年1月19日（土）～平成26年1月

内容：綾町の照葉樹林ユネスコエコパークの登録及び古事記編さん1300年を記念し、福岡を中心とした九州各地での観光PRを目的にバスをラッピング。

主催：綾町、みやざき観光コンベンション協会



#### 143 神話巡りタクシーツアーの実施 (観光推進課)

期間：平成25年1月25日(金)～平成26年1月26日(日)の金土日

内容：新たに県内各地域を6コース(宮崎市、延岡・日向、延岡・西臼杵、日南・串間、西都・児湯、北諸・西諸)で周遊するタクシーツアーを実施し、県外からの一層の観光誘客を図る。

料金：1,300円

#### 144 奈良県主催 首都圏記紀シンポジウムへの参加 (観光推進課)

期日：平成25年1月27日(日)

場所：銀座ブロッサムホール(東京都)

内容：記紀ゆかりの宮崎県、奈良県、三重県、和歌山県、島根県知事が一堂に会し、首都圏において記紀ゆかりの各県の魅力をPR。



#### 145 延岡の神話伝説について考える記紀編さん1300年記念シンポジウム

期日：平成25年1月27日(日)

場所：延岡市カルチャープラザのべおか多目的ホール

内容：日之影町出身の漫画家、赤星たみこさんによる記念講演や神話ダンスなどのアトラクションのほか、パネルディスカッションを実施。

主催：記紀編さん1300年延岡実行委員会



#### 146 首都圏における「みやざきweeek 2013」の開催

(みやざきアピール課、東京事務所)

期間：平成25年1月～3月

内容：①スーパー、ホテル、飲食店など民間企業の協力による「宮崎フェア」の展開

②プロモーションイベントの実施

期日：平成25年1月26日(土)

場所：マルキューブ(丸の内ビル1階)

内容：トークセッションや西米良村「村所神楽」などステージイベント、杉インフィルを活用した「神話のふるさとみやざき」関係展示など。

③ その他関連イベントの実施

- ・東京スカイツリーでのPR(2/4～2/10)
- ・新宿みやざき館KONNEでのPR(1月～3月)
- ・東京都庁宮崎観光物産展でのPR(1/16～1/22)
- ・東急ストアでのトップセールス(2/17)など



#### 147 県内の埋もれた神話、伝説を収集し冊子に

内容：県民への情報提供を呼び掛けるとともに、会員が県内各地で取材を行い、平成24年度中に冊子や本にまとめ、平成25年1月から販売。

企画：宮崎市観光協会

編集：宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会

出版：鉾脈社



#### 148 関西地区における「みやざきweek2013」の開催

(みやざきアピール課、大阪事務所)

期間：平成25年2月～3月

内容：① ホテル、飲食店など民間企業の協力による「宮崎フェア」の展開

② プロモーションイベントの実施

期間：平成25年2月2日（土）～2月3日（日）

場所：JR大阪駅構内

内容：「日本一宮崎牛」と「神話のふるさとみやざき」、「スポーツキャンプ」を柱に知事のトップセールス、高千穂夜神楽のステージイベントなど。

③ その他関連イベントの実施

・宮崎県産材販売促進フェア（2/1）

・青果市場トップセールス（2/2）

・みやざき応援団交流会（2/2）

・千里中央駅、堺駅、広島駅周辺での観光物産展等



#### 149 スピリチュアルひむか観光協議会 宮崎神旅モニターツアーの実施

期間：平成25年2月9日（土）～11日（月）2泊3日（福岡発着）

内容：地域にある神話・伝説の地や、技、自然を巡るモニターツアーを開催し、その結果を受け、旅行商品としてPRを実施。

参加者：県外の方々を対象とした16名

主催：スピリチュアルひむか観光協議会

（延岡市、高千穂町、日之影町の1市2町で設立）

#### 150 JR西日本タイアップキャンペーン（観光推進課、大阪事務所）

期間：平成25年2月～3月

内容：① 「記紀編さん1300年」を切り口とした観光PR 関西・中国エリアのJR主要駅でのPRポスター掲出、車内吊りポスター掲出、駅置きパンフレット配布。

② 月刊広報誌「旅こよみ：2月号」、グリーン車車内誌「ひととき：3月号」、テレビ番組「旅ぷら：読売テレビ（2月24日放送）」等でのPR。





151 第13回 宮崎たまゆら温泉かぐらまつり

期間：平成24年3月1日（金）～16日（土）

内容：毎週末大淀川河畔ホテルでの神楽奉納及び灯りの神話オブジェ

主催：宮崎たまゆら温泉かぐらまつり実行委員会

152 「NHK BSプレミアム 古事記 日向路を巡る旅」の放送（観光推進課）

放送日時：平成25年3月16日（土） 11:00～11:59

テーマ：① 青島「海幸山幸と恋愛成就のパワースポット

② みそぎ池「国産みの物語」

③ 高千穂峡「天の岩戸開き」

④ 西都原「ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメ 古墳の謎を追う」

153 「東京ガールズコレクション SPRING LIVE Edition supported by 宮崎恋旅」の開催

（観光推進課）

期間：平成25年3月30日（土）

会場：延岡市西階総合運動公園陸上競技場

内容：ファッションショー、アーティストライブ、  
グルメスタジアムなど

主催：東京ガールズコレクション実行委員会



154 全国のJRグループ主要駅におけるPR（観光推進課）

期間：平成25年4月

内容：① 全国のJR主要駅で「神話のふるさと みやざき」をテーマとしたB1  
サイズ5連貼りポスターによるPR

② JRグループ提供番組「遠くへ行きたい」の番組制作、放映

③ JR時刻表グラビアページへの特集記事掲載



記紀編さん1300年記念事業

推進協議会規約等



## 記紀編さん1300年記念事業推進協議会規約

### (名称)

第1条 この会の名称は、記紀編さん1300年記念事業推進協議会（以下「推進協議会」という。）とする。

### (目的)

第2条 平成24年の古事記編さん1300年、また、平成32年の日本書紀編さん1300年の歴史の節目を迎えるに当たり、日向神話や伝説、史跡など現在まで受け継がれてきた宮崎の宝を再認識するとともに、県民の力を結集し、その磨き上げや情報発信を行うことにより、地域の活性化や将来の県づくりに繋げていくための記紀編さん1300年記念事業（以下「記念事業」という。）を円滑に展開することを目的とする。

### (所掌事務)

第3条 推進協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 記念事業に係る基本方針及び毎年度の取組の決定並びにその推進に関すること。
- (2) 関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること。
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (組織)

第4条 推進協議会は、別表に掲げる団体等を代表する者を委員として構成する。

2 委員は、推進協議会の決定により、必要に応じて追加等の変更を行うことができるものとする。

### (役員)

第5条 推進協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 若干名
- 2 会長は、宮崎県知事をもって充てる。
  - 3 副会長は、委員の中から会長が指名する。

### (役員職務)

第6条 会長は、推進協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、会長があらかじめ指名する副会長がその職務を代理する。

### (任期)

第7条 役員任期は、推進協議会が解散するまでとする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第8条 推進協議会に顧問を置く。

- 2 顧問は、宮崎県議会議長、宮崎県市議会議長会会長及び宮崎県町村議会議長会会長をもって充てる。

(総会)

第9条 推進協議会の総会（以下「総会」という。）は、会長、副会長及び委員をもって構成し、会長が必要と認めたときに招集し、会長が議長となる。

- 2 総会は、総会の構成員の過半数の出席がなければ、これを開くことはできない。
- 3 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 総会には、会長が必要と認めるときは、構成員以外の者を出席させることができる。

(専決処分)

第10条 会長は、会議を招集するいとまがないときは、その議決すべき事項について、これを専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の会議において報告し、その承認を求めなければならない。

(企画運営委員会)

第11条 推進協議会の運営を円滑に進めるため、推進協議会に企画運営委員会を置く。

- 2 企画運営委員会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第12条 推進協議会の事務を処理するため、宮崎県総合政策部総合政策課に推進協議会事務局を置く。

(委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、推進協議会の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成24年2月21日から施行する。

別表（第4条関係）

団体等名
宮崎県農業協同組合中央会
宮崎県経済農業協同組合連合会
公益社団法人 宮崎県森林林業協会
宮崎県森林組合連合会
宮崎県木材協同組合連合会
宮崎県漁業協同組合連合会
社団法人 宮崎県商工会議所連合会
宮崎県商工会連合会
宮崎県中小企業団体中央会
社団法人 宮崎県工業会
宮崎経済同友会
宮崎県経営者協会
宮崎県建設産業団体連合会
社団法人 宮崎県建設業協会
一般社団法人 宮崎県銀行協会
社団法人 九州経済連合会宮崎地域委員会
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会
特例社団法人 宮崎県医師会
社団法人 宮崎県歯科医師会
社団法人 宮崎県薬剤師会
宮崎県公民館連合会
公益財団法人 宮崎県老人クラブ連合会
宮崎県地域婦人連絡協議会
宮崎県青年団協議会
宮崎県SAP会議連合
宮崎県SSグループ連絡会議
公益社団法人 日本青年会議所 宮崎ブロック協議会
社団法人 宮崎県子ども会育成連絡協議会
宮崎県PTA連合会
県立特別支援学校PTA連絡協議会
宮崎県高等学校PTA連合会
高等教育コンソーシアム宮崎
日本ボーイスカウト宮崎連盟
ガールスカウト宮崎県連盟
宮崎県地域づくりネットワーク協議会
宮崎県林業研究グループ連絡協議会
宮崎県木材青壮年会連合会
公益財団法人 宮崎県芸術文化協会
公益財団法人 宮崎県体育協会
公益財団法人 宮崎県国際交流協会

団体等名
宮崎県生活衛生同業組合連合会
公益財団法人 みやざき観光コンベンション協会
社団法人 宮崎県物産貿易振興センター
社団法人 全国旅行業協会 宮崎県支部
宮崎県ホテル協会
癒しの国みやざき観光ボランティア協議会
宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合
一般社団法人 日本旅行業協会宮崎地区会
全日本空輸株式会社 宮崎支店
日本航空株式会社 宮崎支店
スカイネットアジア航空株式会社
九州旅客鉄道株式会社 宮崎総合鉄道事業部
一般社団法人 宮崎県バス協会
社団法人 宮崎県タクシー協会
社団法人 宮崎県トラック協会
宮崎カーフェリー株式会社
西日本高速道路株式会社 九州支社 宮崎工事事務所
朝日新聞宮崎総局
毎日新聞宮崎支局
読売新聞宮崎支局
西日本新聞宮崎総局
株式会社宮崎日日新聞社
夕刊デイリー新聞社
共同通信社 宮崎支局
時事通信社 宮崎支局
日本放送協会宮崎放送局
株式会社宮崎放送
株式会社テレビ宮崎
宮崎ケーブルテレビ株式会社
ビーティーヴィーケーブルテレビ株式会社
株式会社ケーブルメディアワイワイ
宮崎県市長会
宮崎県市議会議長会
宮崎県町村会
宮崎県町村議会議長会
宮崎県市町村教育委員会連合会
宮崎県議会
宮崎県
宮崎県教育委員会

(順不同)



## 記紀編さん1300年記念事業企画運営委員会設置規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、記紀編さん1300年記念事業推進協議会（以下「推進協議会」という。）規約第11条第2項の規定に基づき、記紀編さん1300年記念事業企画運営委員会（以下「企画運営委員会」という。）の運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

### (所掌事務)

第2条 企画運営委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 記紀編さん記念事業の企画・運営等に関すること。
- (2) 関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること。
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 企画運営委員会は、別表に掲げる団体等から選任された者を企画運営委員として構成する。

- 2 企画運営委員は、企画運営委員会の決定により、必要に応じて追加等の変更を行うことができるものとする。

### (役員)

第4条 企画運営委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
  - (2) 副委員長 若干名
- 2 委員長は、宮崎県副知事をもって充てる。
  - 3 副委員長は、委員の中から委員長が指名する。

### (役員職務)

第5条 委員長は、企画運営委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、委員長があらかじめ指名する副委員長がその職務を代理する。

### (任期)

第6条 役員任期は、企画運営委員会が解散するまでとする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

### (会議)

第7条 企画運営委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長、副委員長及び委員をもって構成し、委員長が必要と認めたときに招集し、委員長が議長となる。

- 2 会議は、会議の構成員の過半数の出席がなければ、これを開くことはできない。

- 3 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会議には、委員長が必要と認めるときは、構成員以外の者を出席させることができる。

(アドバイザー)

第8条 企画運営委員会に、記紀編さん記念事業の企画・運営等に関し、専門的な見地からの情報や助言を求めるため、アドバイザーを置くことができる。

(報告)

第9条 委員長は、必要に応じて、企画運営委員会における審議の経過及び結果を会長に報告するものとする。

(事務局)

第10条 企画運営委員会に関する事務は、推進協議会事務局において処理する。

(委任)

第11条 この規程に定めるもののほか、企画運営委員会の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、平成24年2月21日から施行する。

別表（第3条関係）

団体等名
宮崎県農業協同組合中央会
宮崎県森林組合連合会
宮崎県漁業協同組合連合会
社団法人 宮崎県商工会議所連合会
宮崎県商工会連合会
社団法人 宮崎県建設業協会
社団法人 九州経済連合会宮崎地域委員会
宮崎県地域づくりネットワーク協議会
公益財団法人 宮崎県芸術文化協会
公益財団法人 みやざき観光コンベンション協会
社団法人 宮崎県物産貿易振興センター
株式会社 宮崎日日新聞社
日本放送協会宮崎放送局
株式会社宮崎放送
株式会社テレビ宮崎
宮崎県市長会
宮崎県町村会
宮崎県

(順不動)

記紀編さん1300年記念事業推進協議会  
役員及び企画運営委員会役員・委員一覧

推進協議会

役員	団体等名
会長	宮崎県 (知事)
副会長	宮崎県市長会
	宮崎県町村会
	財団法人 みやざき観光コンベンション協会
	特例社団法人 宮崎県商工会議所連合会
顧問	宮崎県議会
	宮崎県市議会議長会
	宮崎県町村議会議長会

企画運営委員会

役員	団体等名
委員長	宮崎県 (副知事)
副委員長	宮崎県市長会
	宮崎県町村会
	財団法人 みやざき観光コンベンション協会
	特例社団法人 宮崎県商工会議所連合会
委員	宮崎県農業協同組合中央会
	宮崎県森林組合連合会
	宮崎県漁業協同組合連合会
	宮崎県商工会連合会
	特例社団法人 宮崎建設業協会
	特例社団法人 九州経済連合会宮崎地域委員会
	宮崎県地域づくりネットワーク協議会
	財団法人 宮崎県芸術文化協会
	特例社団法人 宮崎県物産貿易振興センター
	宮崎日日新聞社
	日本放送協会宮崎放送局
	株式会社宮崎放送
	株式会社テレビ宮崎

記紀編さん1300年記念事業 基本構想  
～神話のふるさと みやざき温故知新ものがたり～

---

記紀編さん1300年記念事業推進協議会事務局

宮崎県総合政策部 総合政策課 記紀編さん記念事業担当  
TEL 0985-26-7607 FAX 0985-26-7331  
<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kiki1300nen/kikihensan.html>

---





